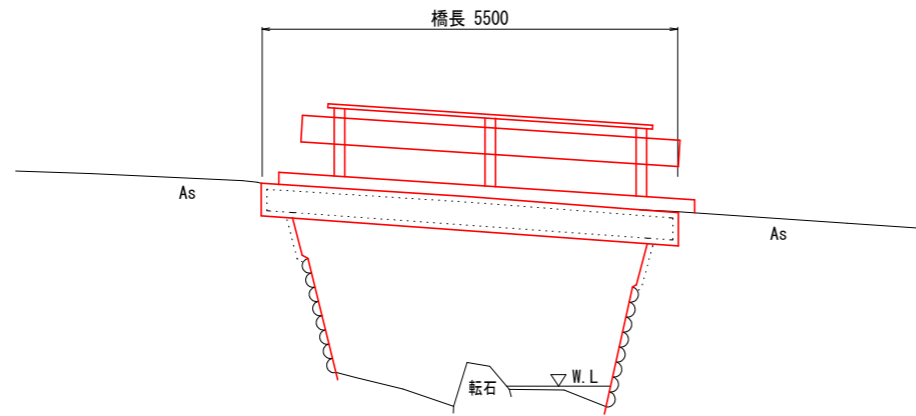


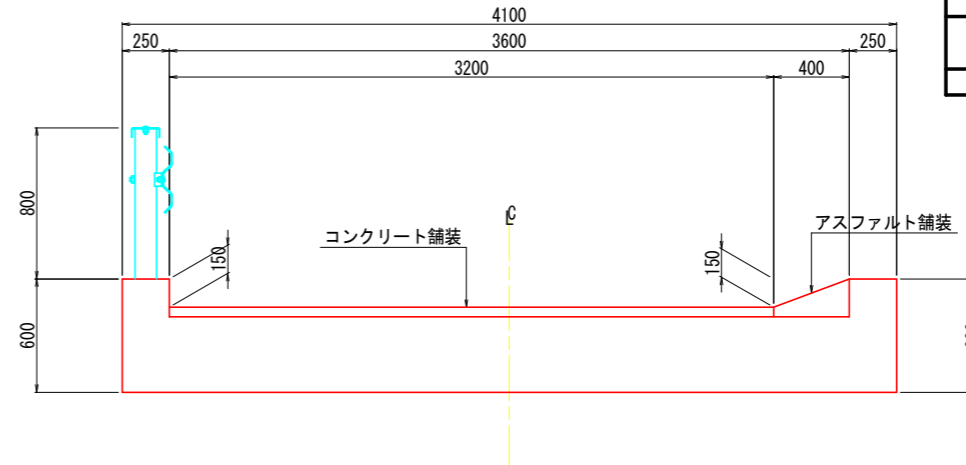
山神橋 補修一般図

橋梁諸元	
橋種	RC中実床版橋
適用示方書	不明
規格・設計荷重	不明
橋長	5.500m
桁長	5.500m
有効幅員	3.600m
下部工及び基礎形式	下部工：重力式橋台 基礎形式：直接基礎
竣工年月	1968年

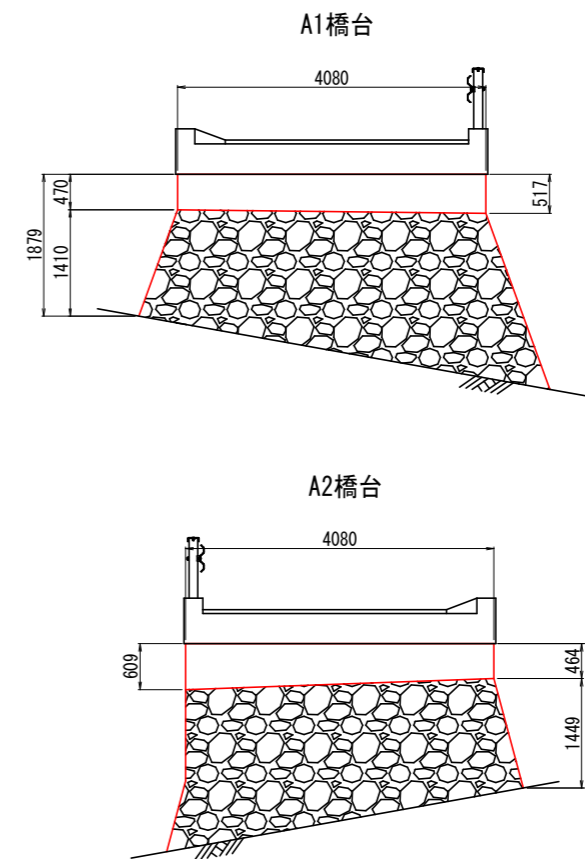
側面図 S=1:50



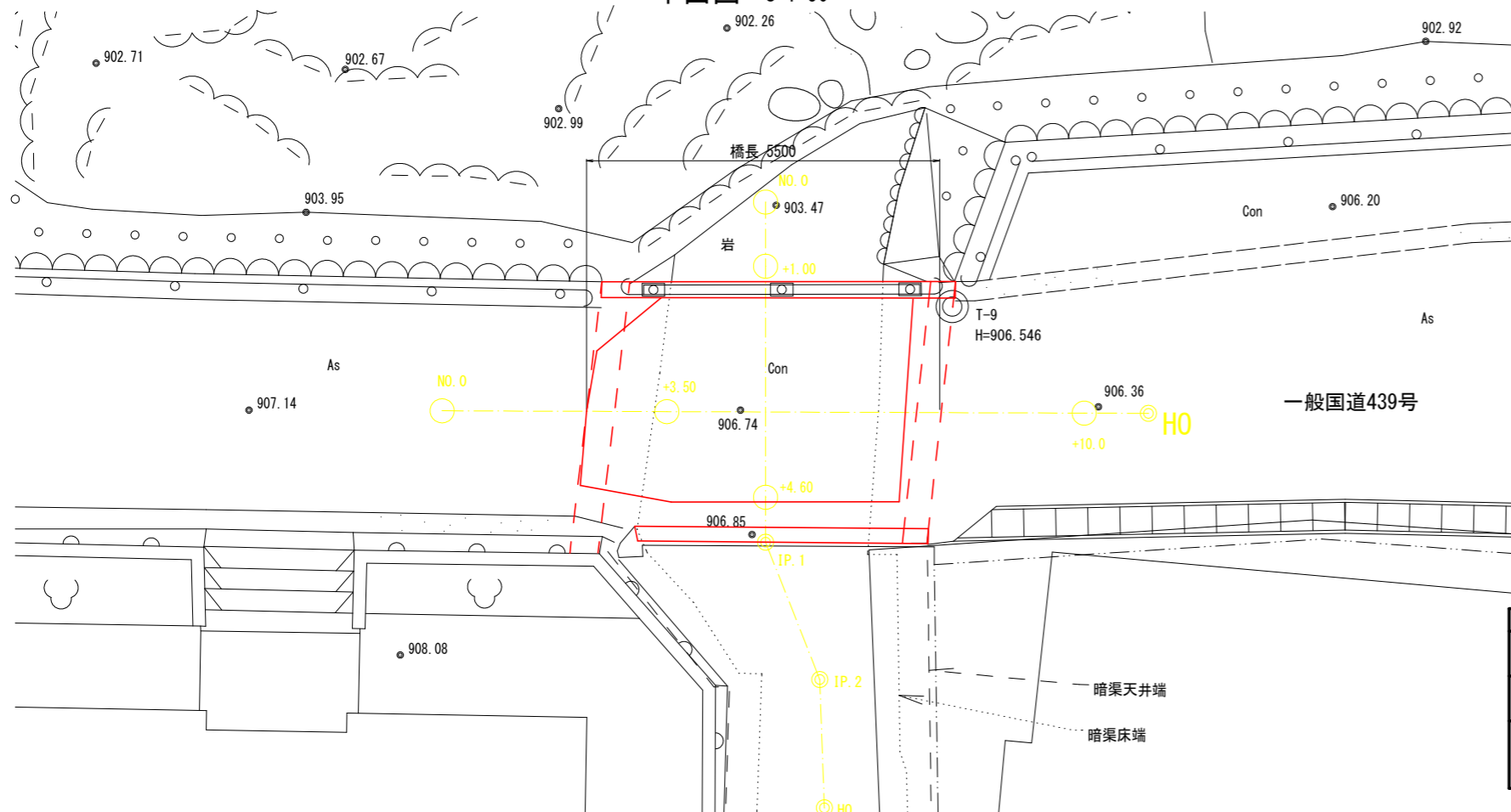
上部工断面図 S=1:20



下部工正面図 S=1:50



平面図 S=1:50



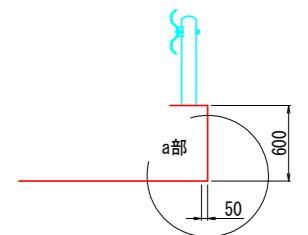
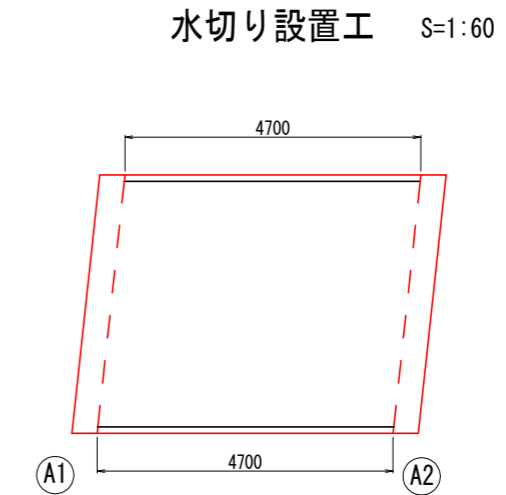
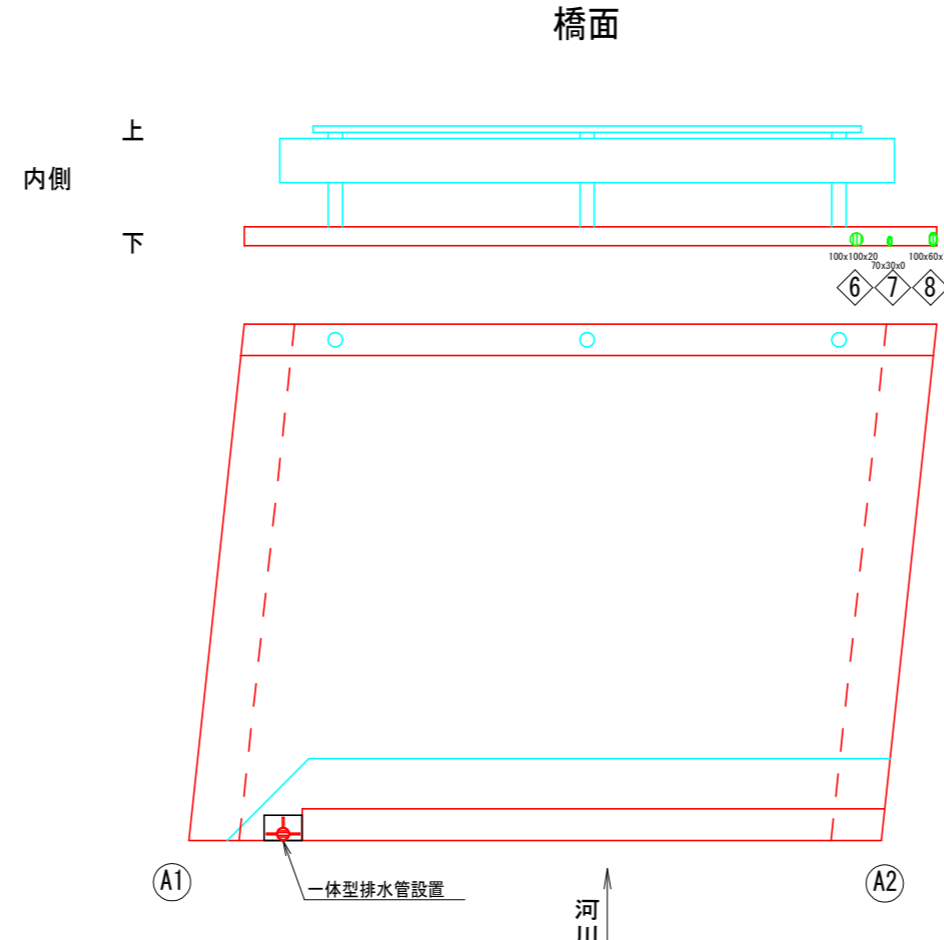
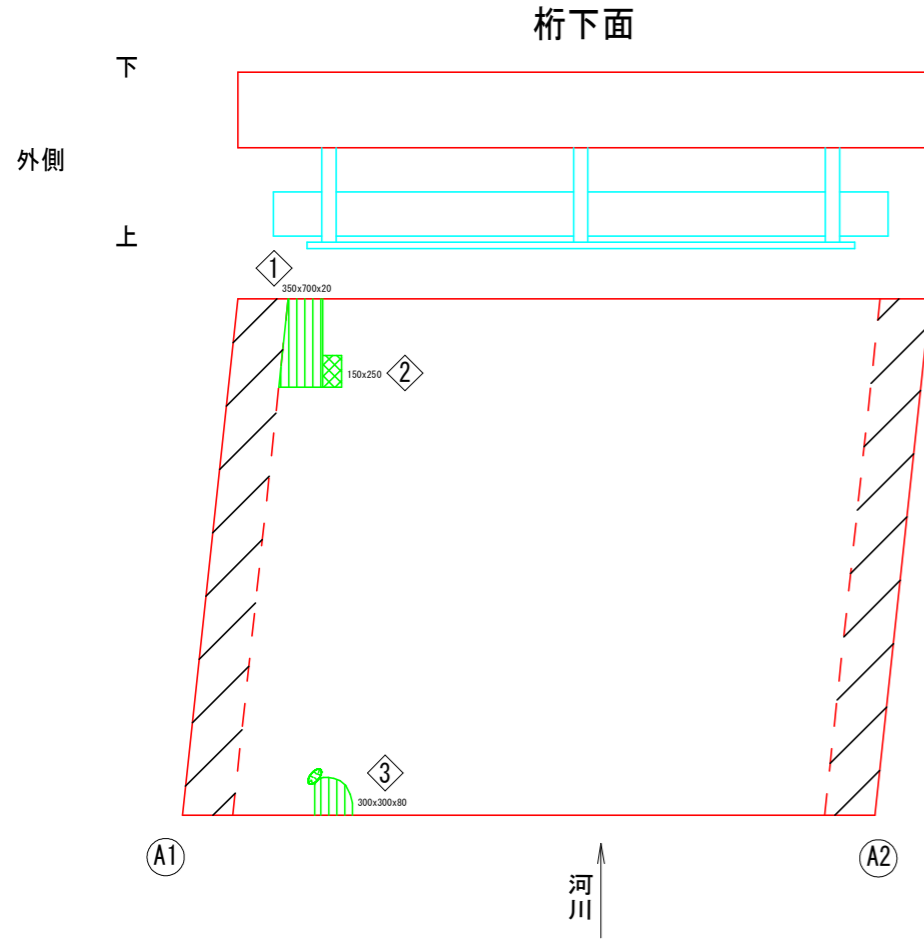
補修箇所一覧表

部位	損傷内容	補修項目
上部工	剥離・鉄筋露出、うき	断面修復工(ポリマーセメントモルタル)
	漏水跡	水切り設置工(水切り材 PVC)
下部工	ひびわれ	ひびわれ充填工
	洗堀	水中不分離性コンクリート充填
橋面工	変形	防護柵取替工
	伸縮目地	伸縮部補修工
	地覆	剥離・鉄筋露出、うき

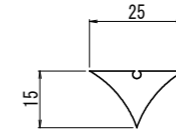
実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号(山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)
図面名	山神橋 補修一般図
縮尺	図示 図面番号 1 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

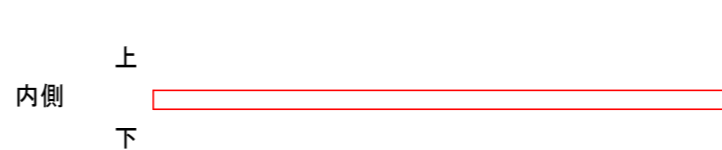
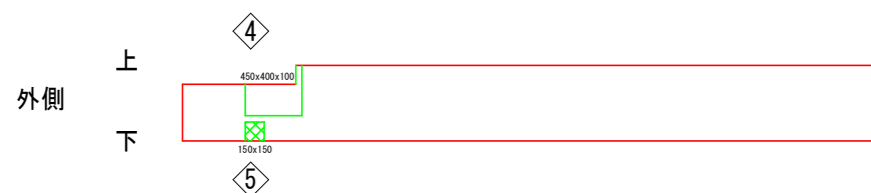
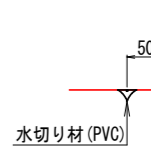
山神橋 補修図 (その1) S=1:30



水切り材詳細図 S=1:1

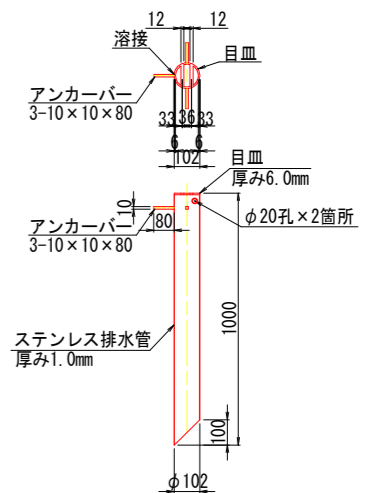
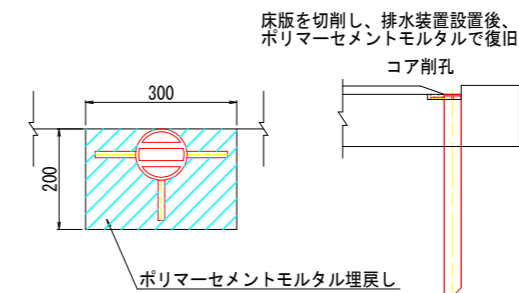


a部詳細 S=1:5

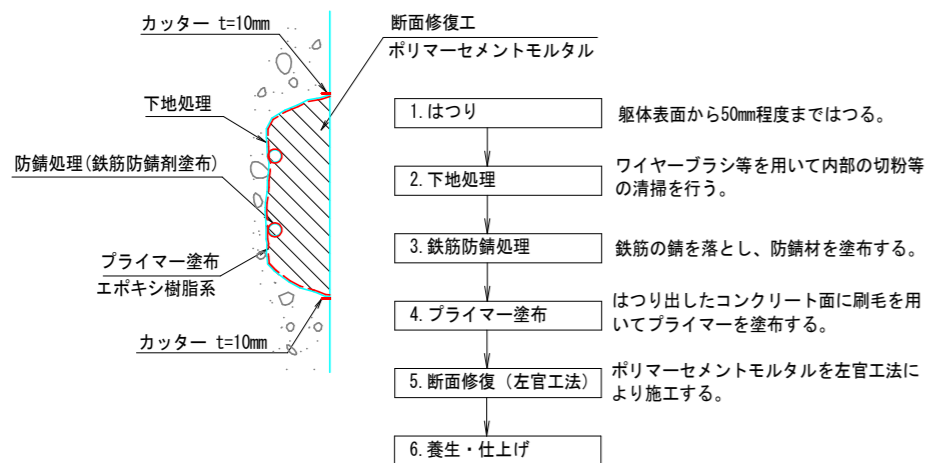


一体型排水管 S=1:15

平面図 断面図



断面修復工



※ 注意事項

- 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。
- 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
- 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。

4) 断面修復材

ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編]平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

断面修復工一覧表

桁下面、橋面

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m ²)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
①	剥離・鉄筋露出	350	700	1	0.245	主桁
②	うき	150	250	1	0.038	主桁
③	剥離・鉄筋露出	300	300	1	0.090	主桁
④	欠損	400	450	1	0.180	主桁
⑤	うき	150	150	1	0.023	主桁
⑥	剥離・鉄筋露出	100	100	1	0.010	地覆
⑦	剥離・鉄筋露出	70	30	1	0.002	地覆
⑧	剥離・鉄筋露出	100	60	1	0.006	地覆
合計					0.594	

水切り設置工

主桁

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	延長 (m)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
	漏水・滞水	4700		1	4.700	主桁
	漏水・滞水	4700		1	4.700	主桁
合計					9.400	

一体型排水管

材料表

部品名称	材質	寸法	数量	重量	備考
目皿	SUS304	φ102x6	1	0.2	
排水管	SUS304	φ102x1	1	2.4	
アンカーバー	SUS304	10x10x80	3	0.2	
合計重量				2.8 kg	

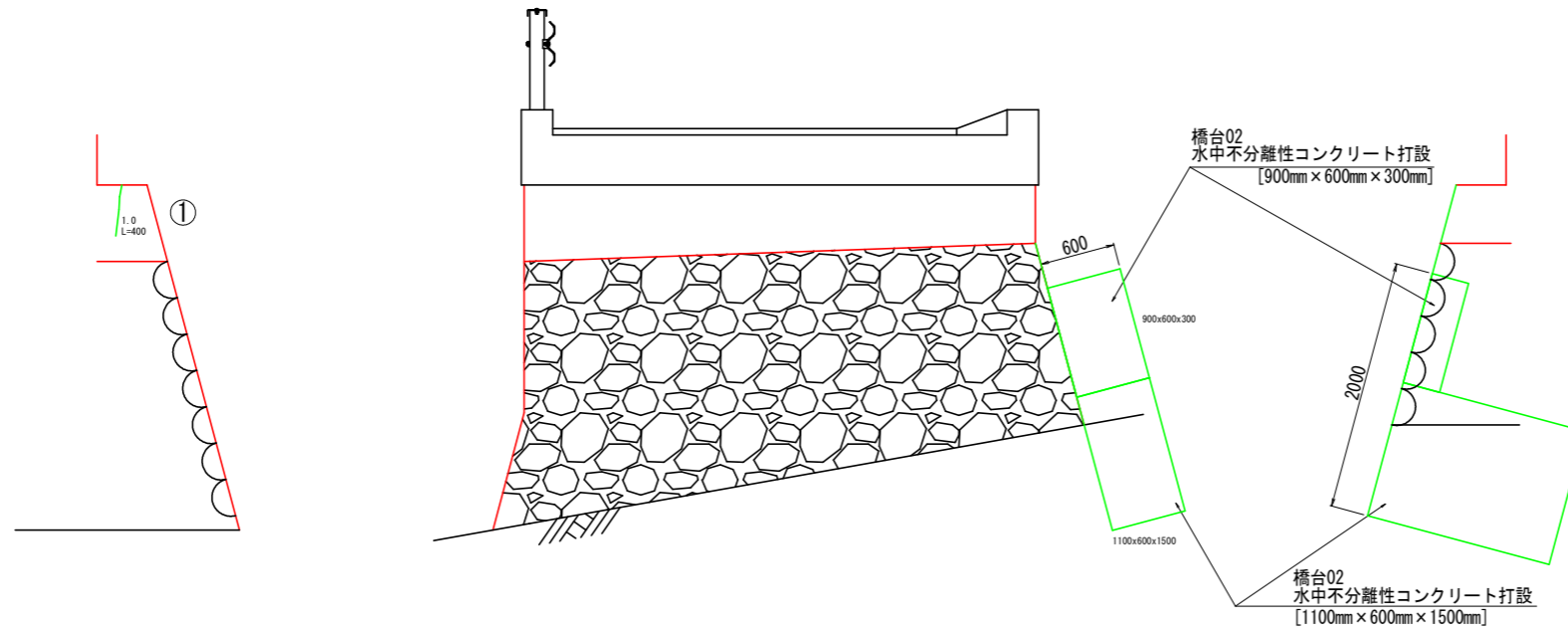
- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする
2. 厚み2.0mm未満の溶接部内外面に対し耐食性低下の防止措置を講じる

実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号 (山神橋他) 三・東祖谷管生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷管生他 (山神橋他)
図面名	山神橋 補修図 (その1)
縮尺	1:20 図面番号 2 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

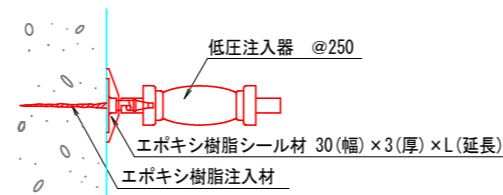
山神橋 補修図 (その2) S=1:30

A2橋台



ひびわれ注入詳細図

(ひびわれ幅0.2mm~1.0mm未満)



注記

1. 施工箇所が湿潤状態である場合には、湿潤用エポキシ樹脂を使用すること。

ひびわれ注入工一覧表

下部工

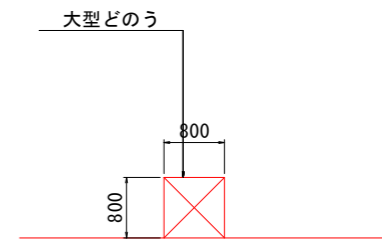
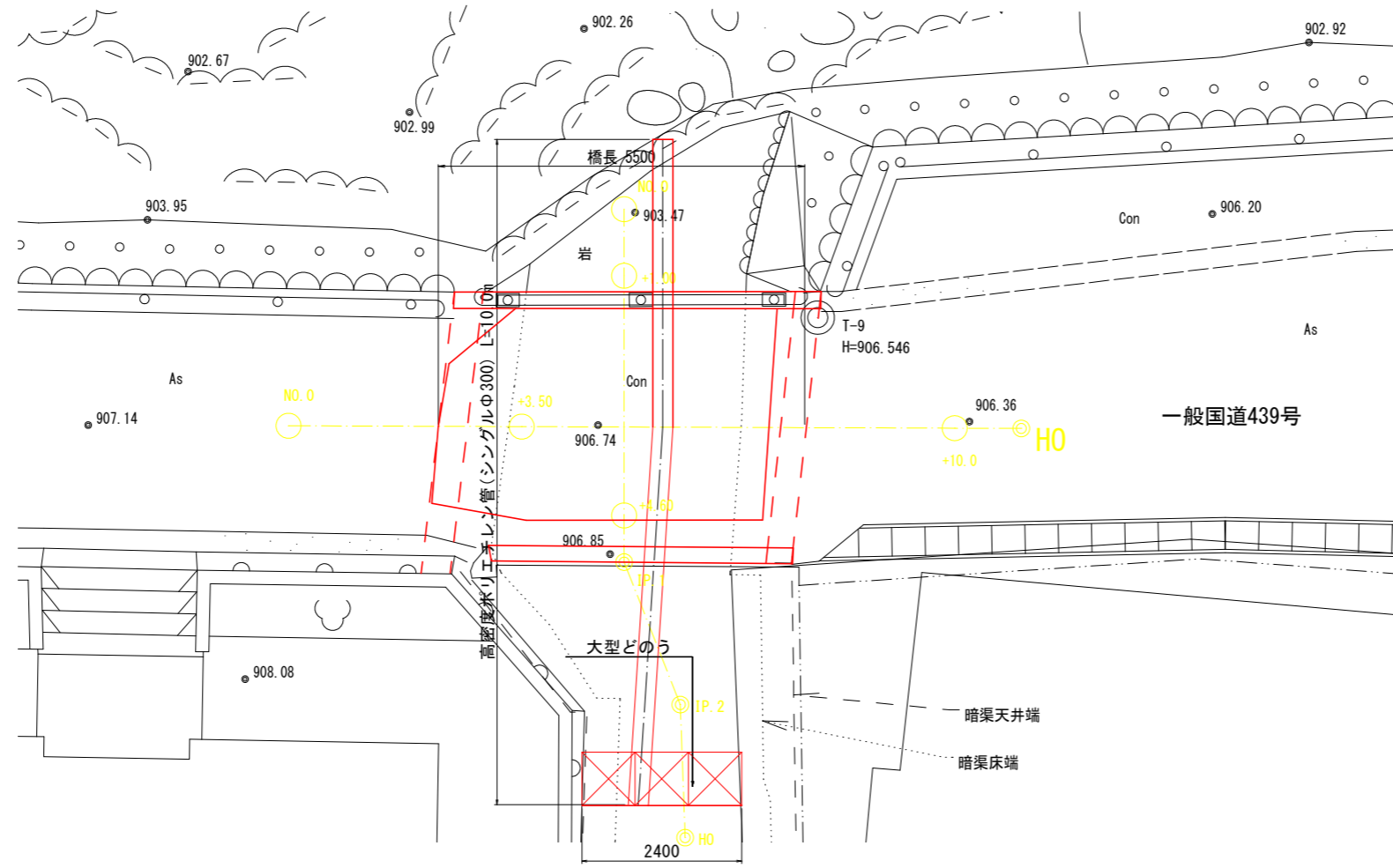
番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
①	1.0	400	1	0.400	橋台02
合計				0.400	

実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号 (山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁補修工事		
路線名等	一般国道439号		
工事箇所	三好市東祖谷菅生他 (山神橋他)		
図面名	山神橋 補修図 (その2)		
縮尺	1:20	図面番号	3 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>		

山神橋 補修図 (その3) S=1:30

仮締切工 平面図 S=1:50

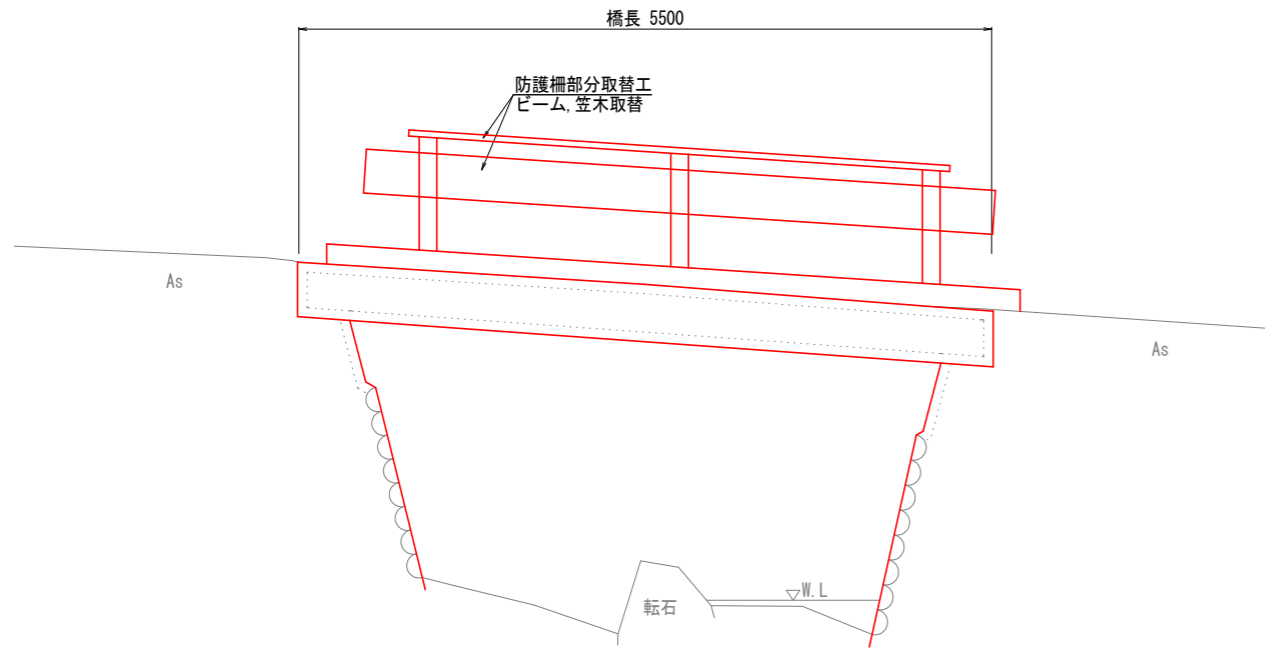


実施設計図面

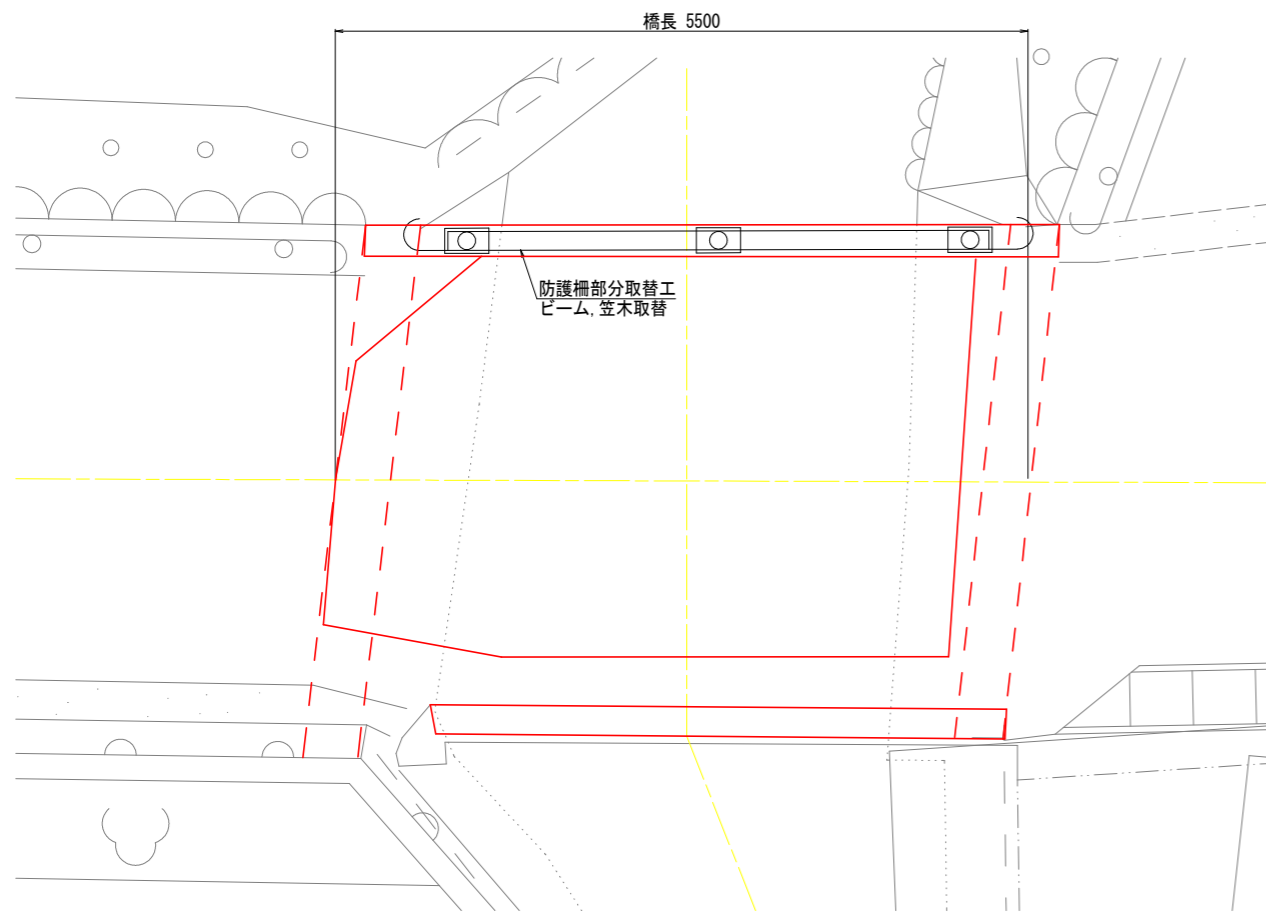
工事名	R2三土 国道439号 (山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道439号		
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)		
図面名	山神橋 補修図 (その2)		
縮尺	1:20	図面番号	4 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>		

山神橋 防護柵部分取替工図

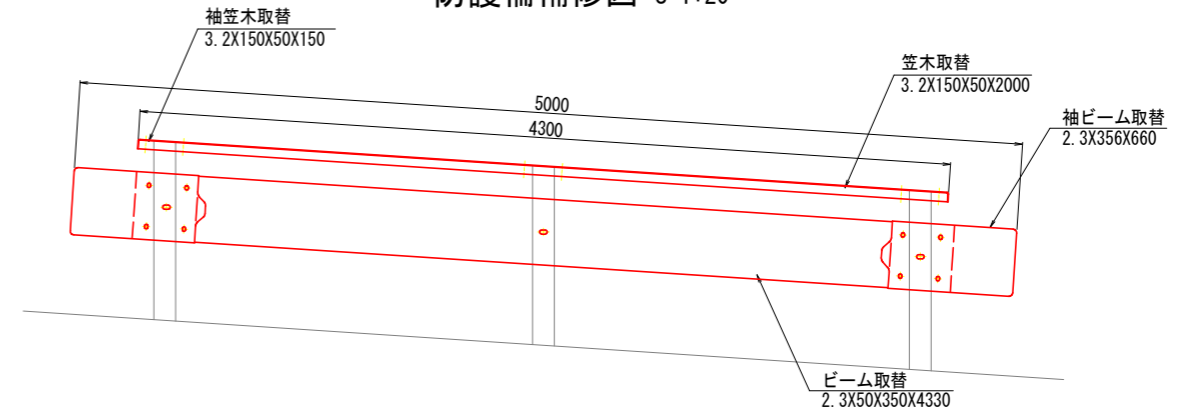
側面図 S=1:30



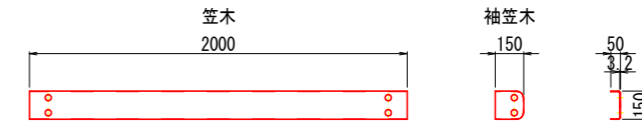
平面図 S=1:30



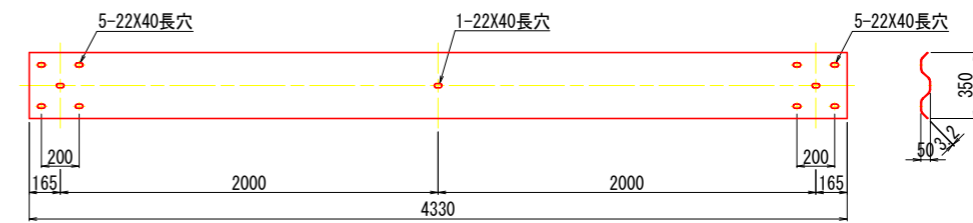
防護柵補修図 S=1:20



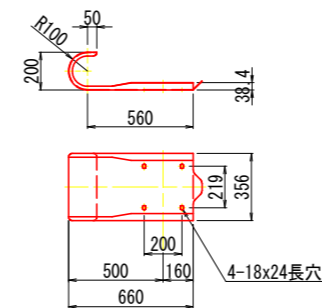
笠木 S=1:20



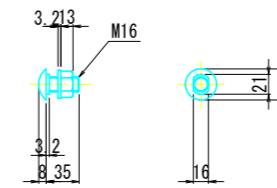
ビーム S=1:20



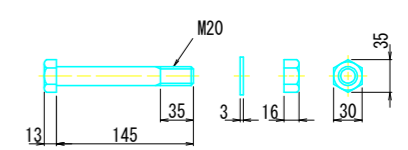
袖ビーム S=1:20



ビーム・笠木取付用B.N.W S=1:4



ビーム取付用B.N.W S=1:4



ビーム, 笠木取替工 数量表

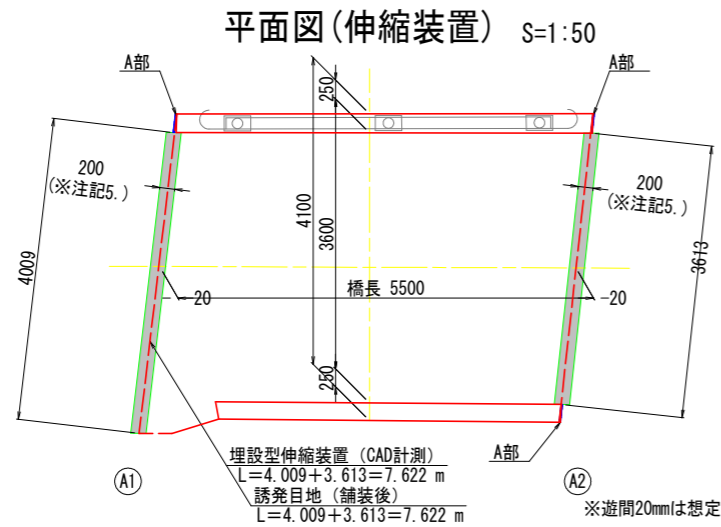
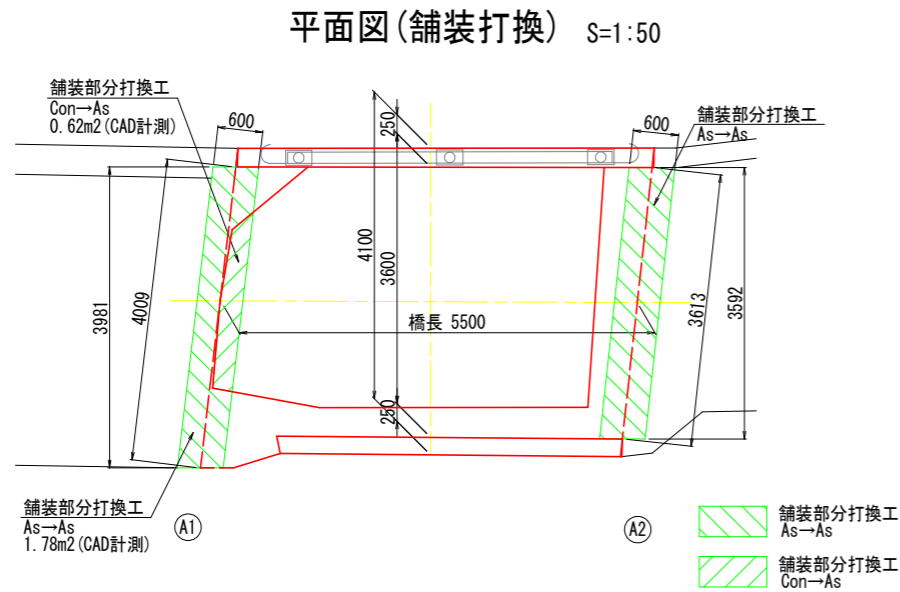
(1橋当り)

項目	規格	材質	単位	数量	備考
撤去	ビーム	3.2×50×350 L=4330	SS400	kg	31.80
復旧	ビーム	3.2×50×350 L=4330	SS400	個	1
撤去	袖ビーム	2.3×356 L=660	SS400	kg	13.00
復旧	袖ビーム	2.3×356 L=660	SS400	個	2
撤去	笠木	3.2×150×50 L=2000	SS400	kg	20.10
復旧	笠木	3.2×150×50 L=2000	SS400	個	2
撤去	袖笠木	3.2×150×50 L=150	SS400	kg	1.50
復旧	袖笠木	3.2×150×50 L=150	SS400	個	1
撤去	ビーム, 笠木取付用B.N.W	M16×35	SS400	組	20
復旧	ビーム取付用B.N.W	M20×145	SS400	組	3
					総撤去重量 66.40kg

実施設計図面

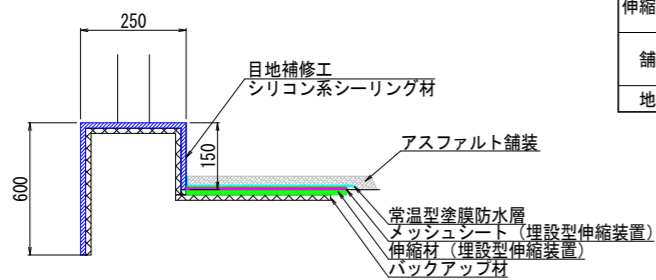
工事名	R2三土 国道439号 (山神橋他) 三・東祖谷管生池 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷管生池 (山神橋他)
図面名	山神橋 防護柵部分取替工図
縮尺	図示 図面番号 5 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

山神橋 伸縮装置設置工・舗装部分打換工図



地覆目地工

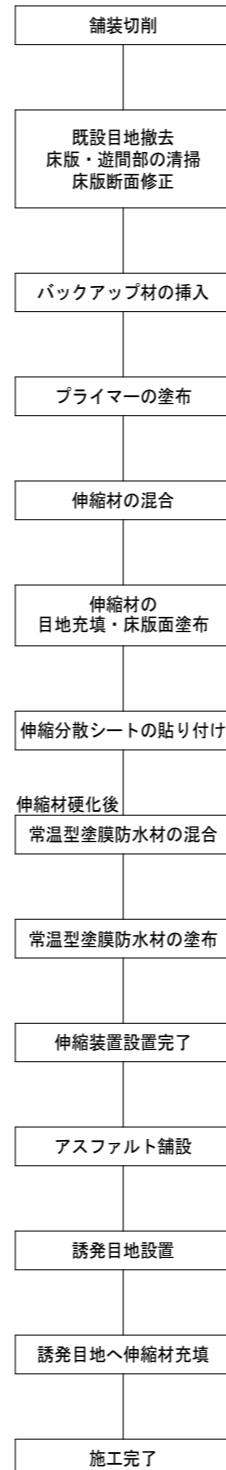
A部断面図：3ヶ所



伸縮装置設置工・舗装部分打換工 数量表

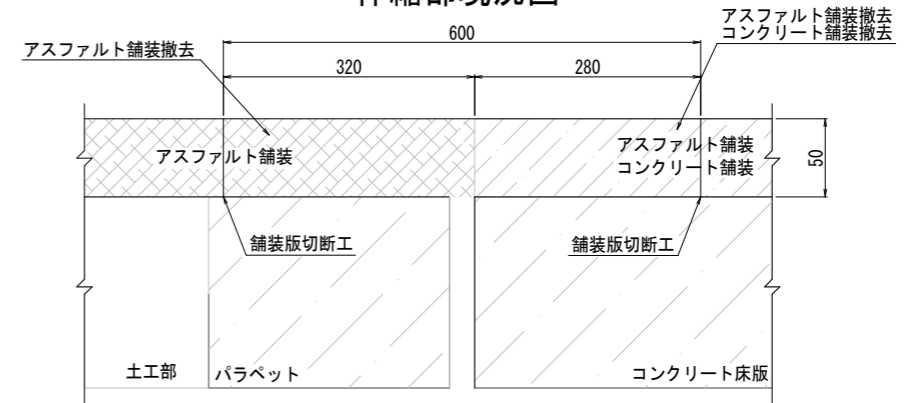
名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
伸縮装置設置工	埋設型伸縮装置	m	7.62	
	橋面防水: 常温型塗膜防水	m ²	1.52	
舗装打換工	As舗装→As舗装	m ²	3.95	t=50mm
	Con舗装→As舗装	m ²	0.62	t=50mm
地覆目地工	シリコン系シーリング材	m	3.00	

施工フロー図

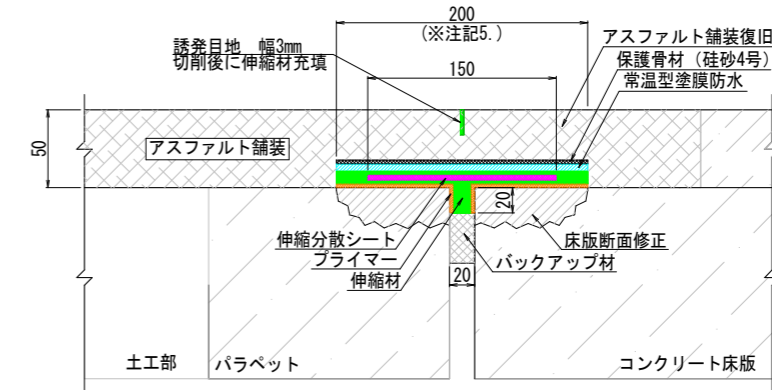


※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。

伸縮部現況図



伸縮装置断面図



※伸縮装置部の帯水を防ぐために適切な排水設備を設けること。
※誘発目地深さはAs舗装を床版まで切断しないように注意し設けること。

伸縮装置材料表 <補修>

名称	材質	単位	数量	備考
伸縮材	主剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	ロス25%含む
伸縮材(誘発目地)	同上	kg	0.06	ロス20%含む
プライマー	シリコーン系化合物	kg	0.045	ロス20%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	ロス10%含む
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	m	0.55	ロス10%含む

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。
※バックアップ材は適宜切断して使用する (1本2mが4m相当)

常温型塗膜防水材料表<補修>

名称	材質	単位	数量	備考
常温型塗膜防水材	主剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	ロス25%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.77	ロス10%含む

※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。

※注記

- 伸縮装置設置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
 - 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定すること
下記に参考仕様を示す
- | | | |
|-------|---------------------------------|-------|
| 一体化 | 遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること | |
| 伸縮追随性 | ±4mm繰り返して剥離・破損がないこと | 6000回 |
| | ±10mm繰り返して剥離・破損がないこと | 15回 |
- 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
 - 伸縮剤との一体化のため、橋面防水工の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
 - 設置面 (W=200) の高さは、同レベルで不陸がない状態まで断面修正 (レベル調整) されていること
 - 既設遊間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遊間幅を調整すること ※適用範囲: 10~20mm
 - 床版断面修正の適用範囲はw200, t=30mmまでとする
 - 伸縮部の位置は想定となるため、施工時には、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

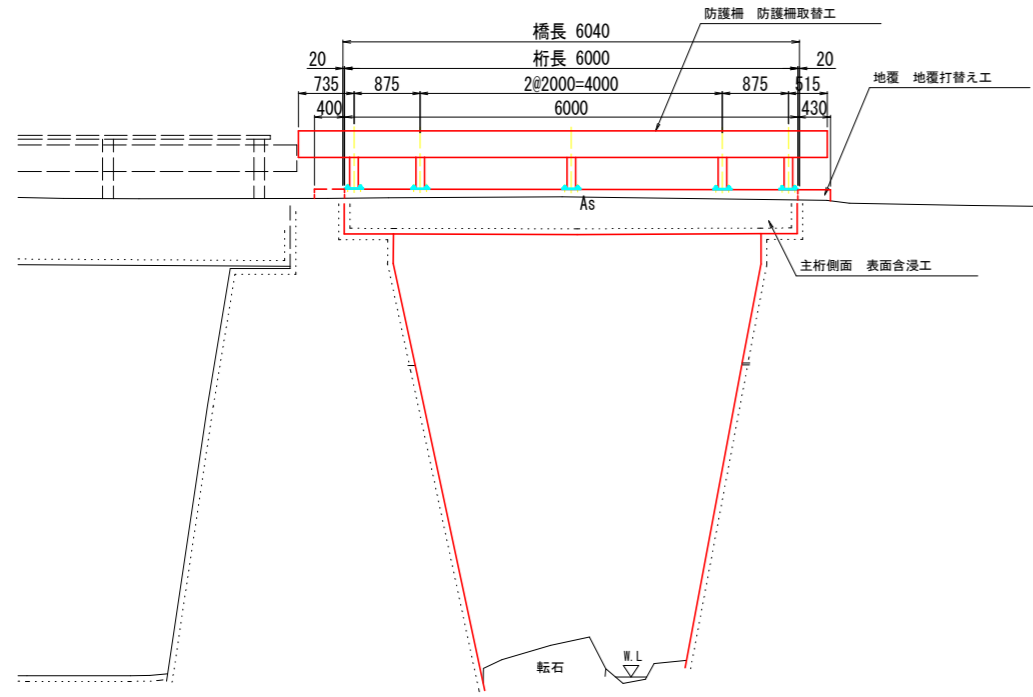
実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号 (山神橋他) 三・東祖谷管生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷管生他 (山神橋他)
図面名	山神橋 伸縮装置設置工・舗装部分打換工図
縮尺	図示 図面番号 6 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

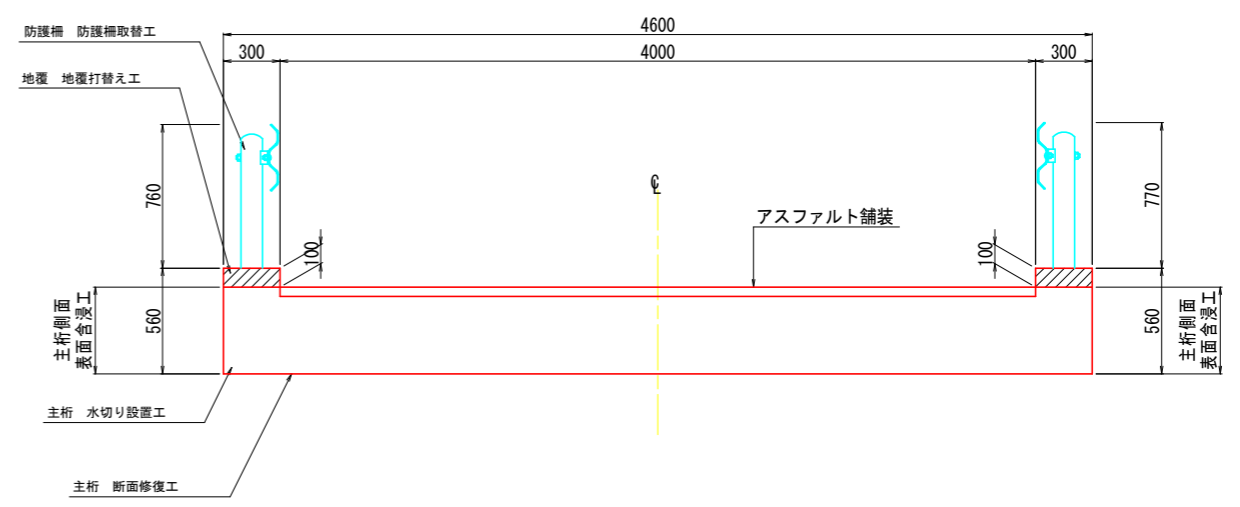
無名橋(菅生) 補修一般図

橋梁諸元	
橋種	RC中実床版橋
適用示方書	不明
規格・設計荷重	不明
橋長	6.800m
桁長	6.000m
有効幅員	4.000m
下部工及び基礎形式	下部工：重力式橋台 基礎形式：直接基礎
竣工年月	1974年

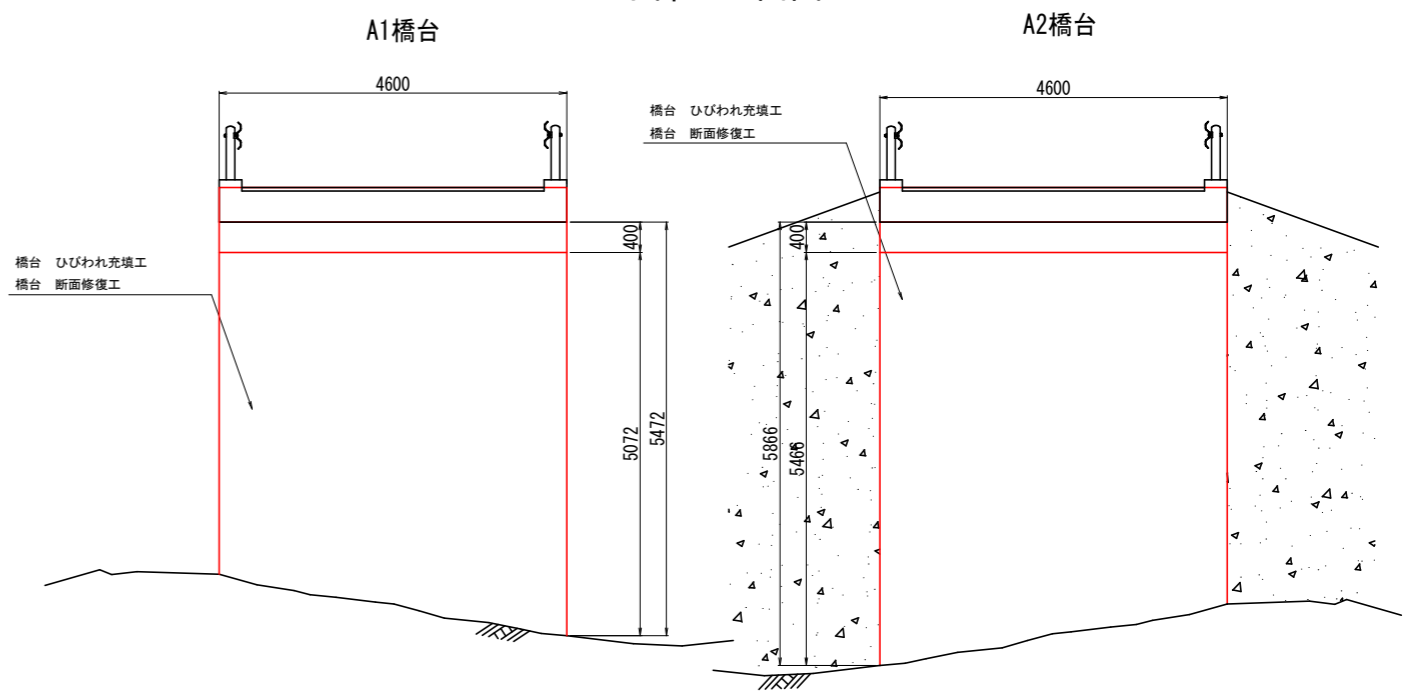
側面図 S=1:50



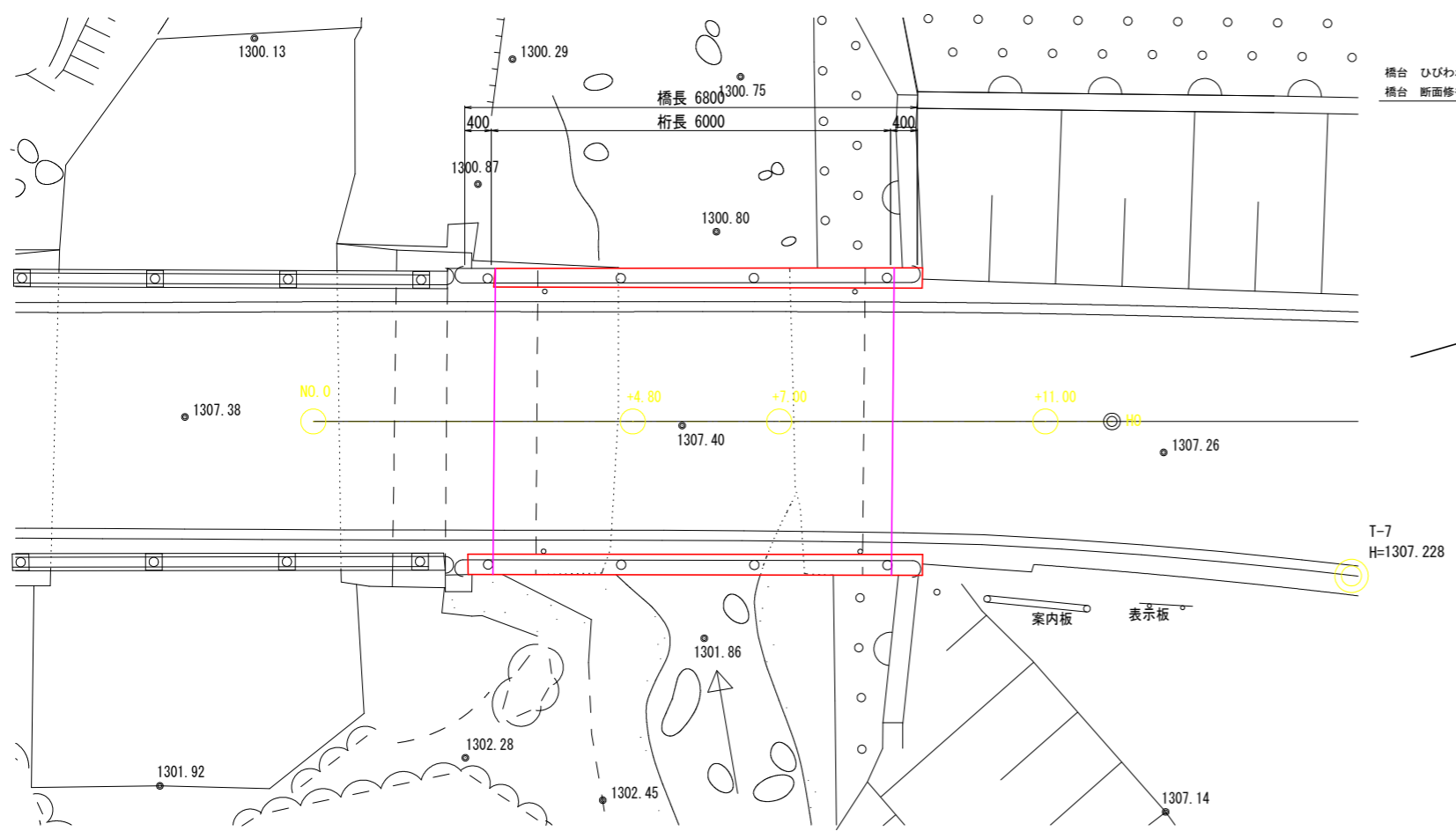
上部工断面図 S=1:20



下部工正面図 S=1:50



平面図 S=1:50



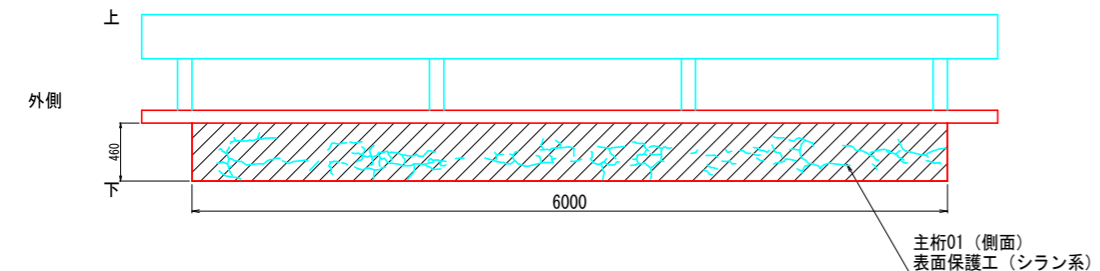
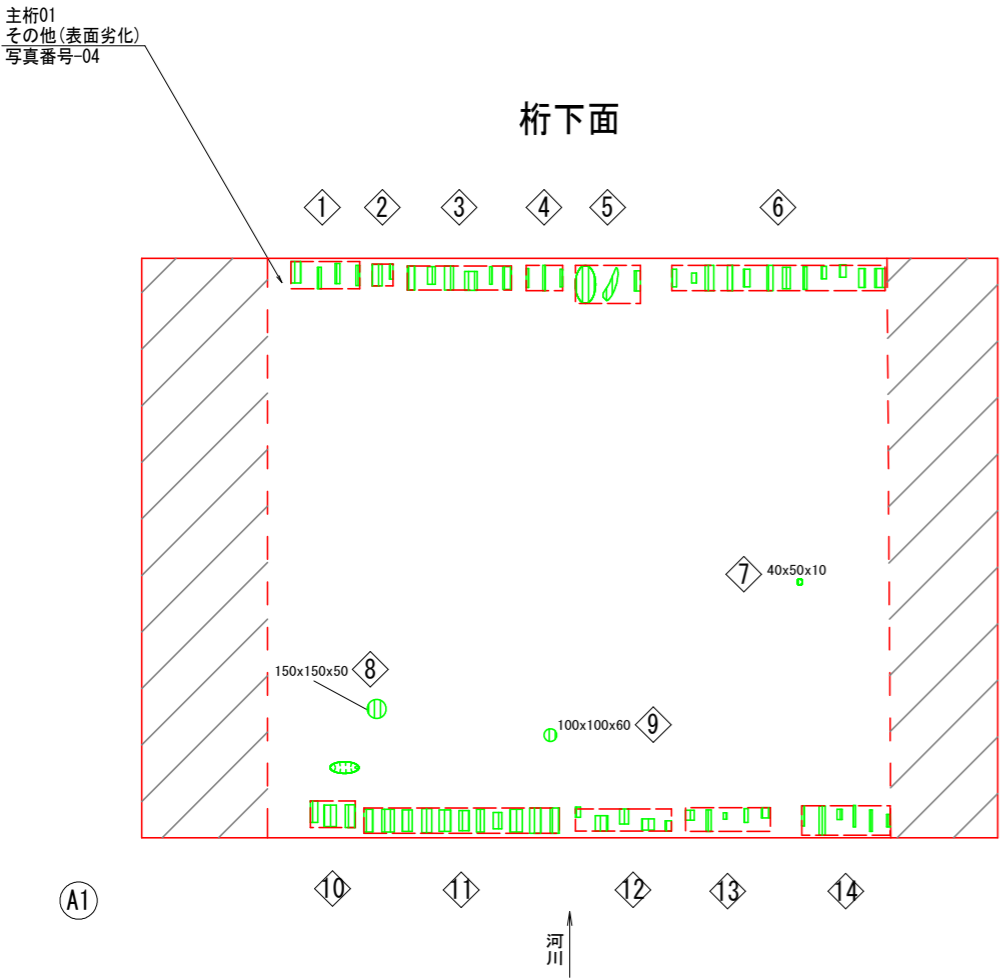
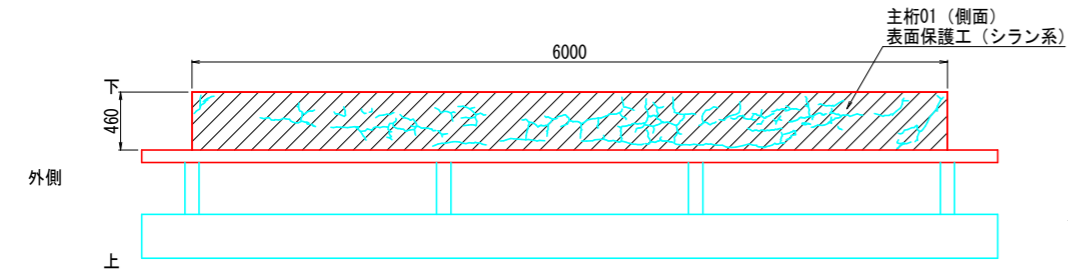
補修箇所一覧表

部位	損傷内容	補修項目	
上部工	主桁	剥離・鉄筋露出、うき	断面修復工(ポリマーセメントモルタル)
		漏水跡	水切り設置工(水切り材 PVC)
		凍害(側面)	表面含浸工
下部工	橋台	ひびわれ	ひびわれ充填工
		剥離・鉄筋露出	断面修復工(ポリマーセメントモルタル)
橋面工	防護柵	地覆の損傷原因	防護柵取替工
	伸縮目地	漏水	伸縮部補修工
	地覆	凍害、うき、欠損	地覆打替え工

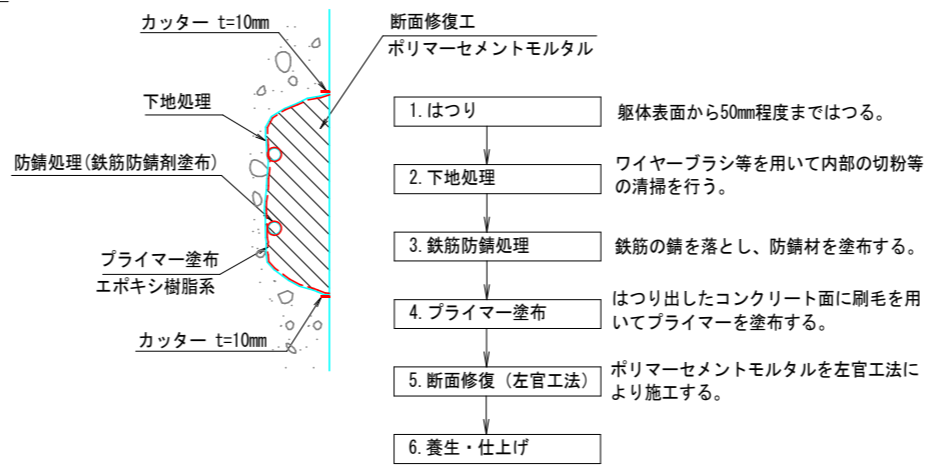
実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号(山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)
図面名	無名橋(菅生) 補修一般図
縮尺	図示 図面番号 7 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

無名橋(菅生) 補修図 (その1) S=1:30



断面修復工



※ 注意事項

- 1) 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。
- 2) 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
- 3) 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
- 4) 断面修復材
ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

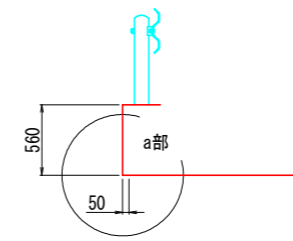
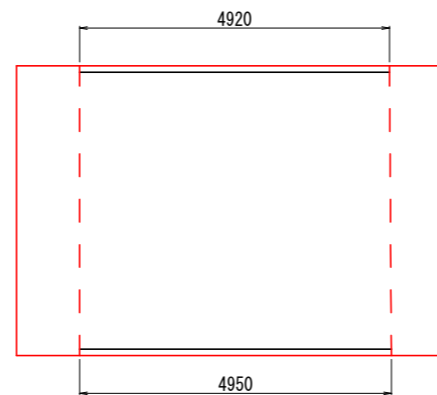
断面修復工一覧表

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m ²)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
①	剥離・鉄筋露出	550	220	1	0.121	主桁01
②	剥離・鉄筋露出	170	170	1	0.029	主桁01
③	剥離・鉄筋露出	830	190	1	0.158	主桁01
④	剥離・鉄筋露出	290	200	1	0.058	主桁01
⑤	剥離・鉄筋露出	520	300	1	0.156	主桁01
⑥	剥離・鉄筋露出	1690	200	1	0.338	主桁01
⑦	剥離・鉄筋露出	40	50	1	0.002	主桁01
⑧	剥離・鉄筋露出	150	150	1	0.023	主桁01
⑨	剥離・鉄筋露出	100	100	1	0.010	主桁01
⑩	剥離・鉄筋露出	360	210	1	0.076	主桁01
⑪	剥離・鉄筋露出	1550	200	1	0.310	主桁01
⑫	剥離・鉄筋露出	760	180	1	0.137	主桁01
⑬	剥離・鉄筋露出	670	190	1	0.127	主桁01
⑭	剥離・鉄筋露出	700	230	1	0.161	主桁01
合計					1.706	

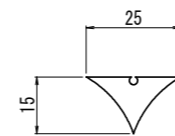
水切り設置工

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	延長 (m)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
	漏水・滞水		4920	1	4.920	主桁01
	漏水・滞水		4950	1	4.950	主桁01
合計					9.870	

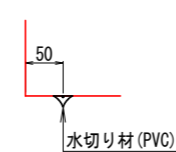
水切り設置工 S=1:60



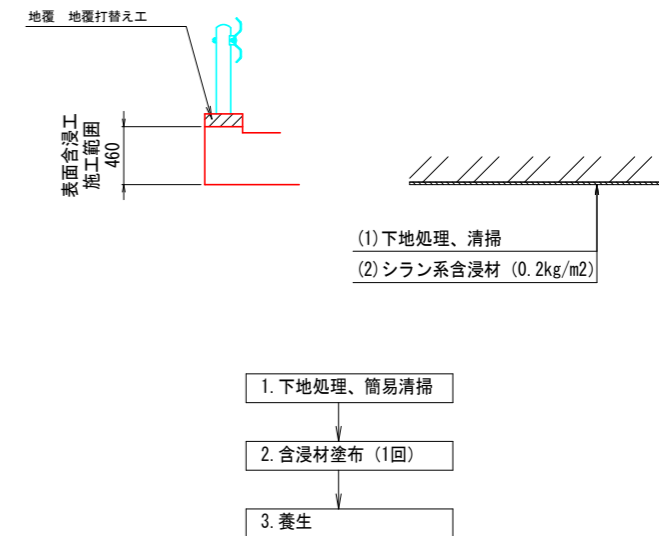
水切り材詳細図 S=1:1



a部詳細 S=1:5



表面含浸工



実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号 (山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁補修工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他 (山神橋他)
図面名	無名橋(菅生) 補修図 (その1)
縮尺	図示 図面番号 8 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

無名橋(菅生) 補修図 (その2) S=1:30

A1橋台
正面図

R側正側図

L側正側図

断面修復工一覧表

下部工

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m ²)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
①	剥離・鉄筋露出	3150	400	1	1.260	A1橋台
②	剥離・鉄筋露出	4800	600	1	2.880	A1橋台
合計					4.140	

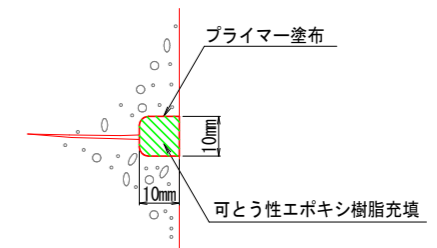
ひびわれ充填工一覧表

下部工

番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
①	3.0	6600	1	6.600	A1橋台
②	10.0	5500	1	5.500	A2橋台
合計				12.100	

ひびわれ充填工詳細図

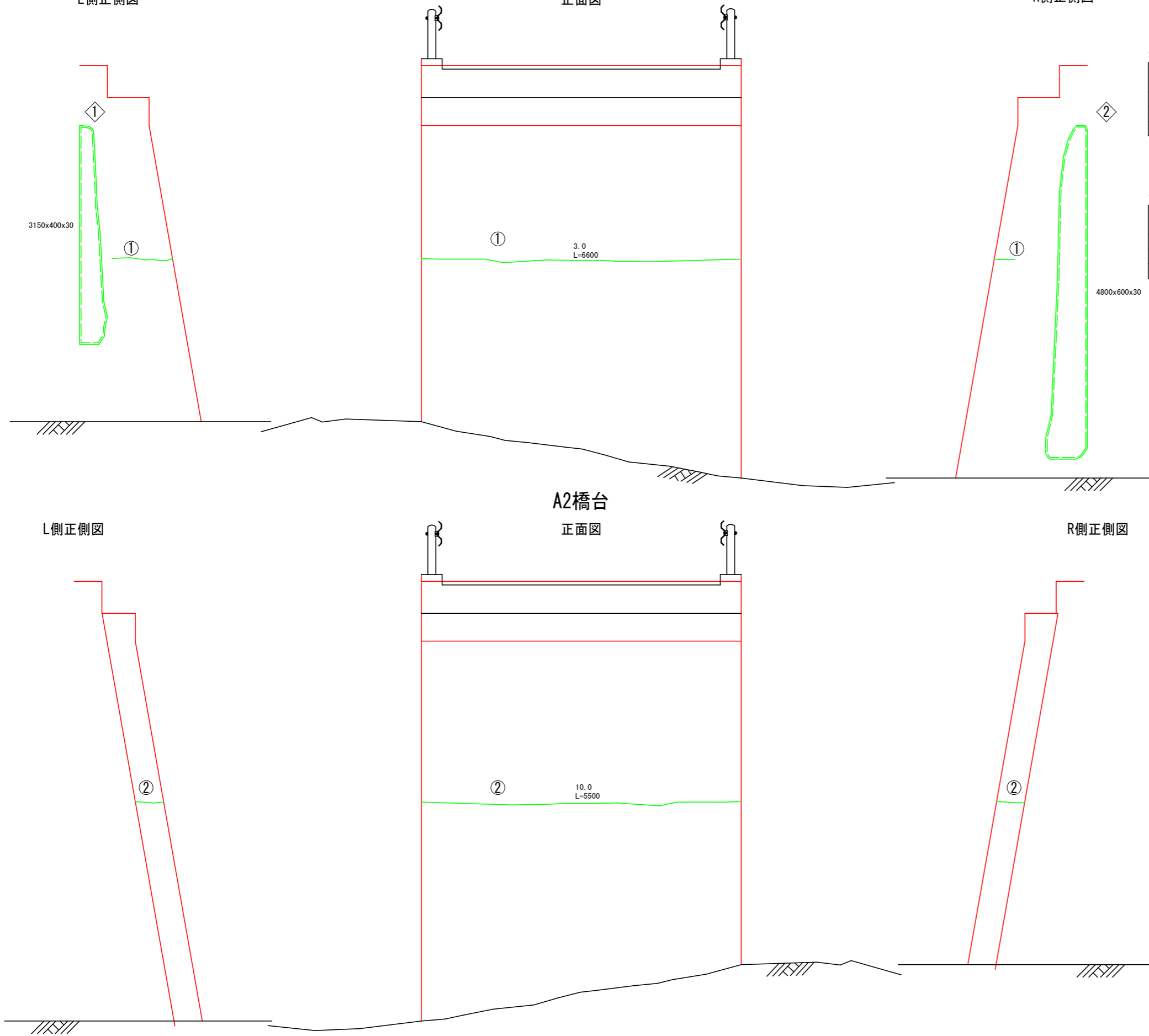
ひびわれ幅1.0mm以上の場合



A2橋台
正面図

R側正側図

L側正側図



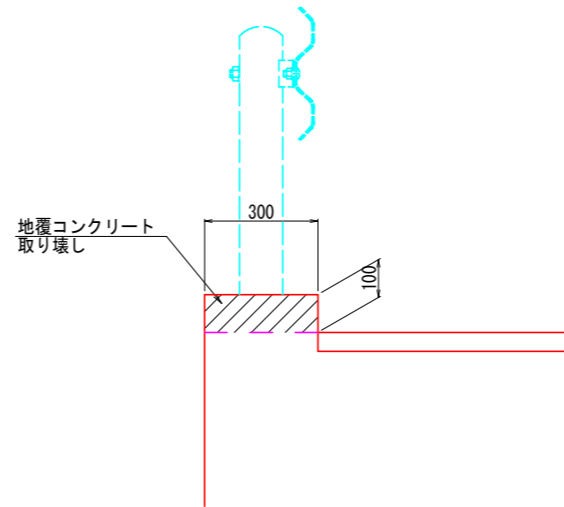
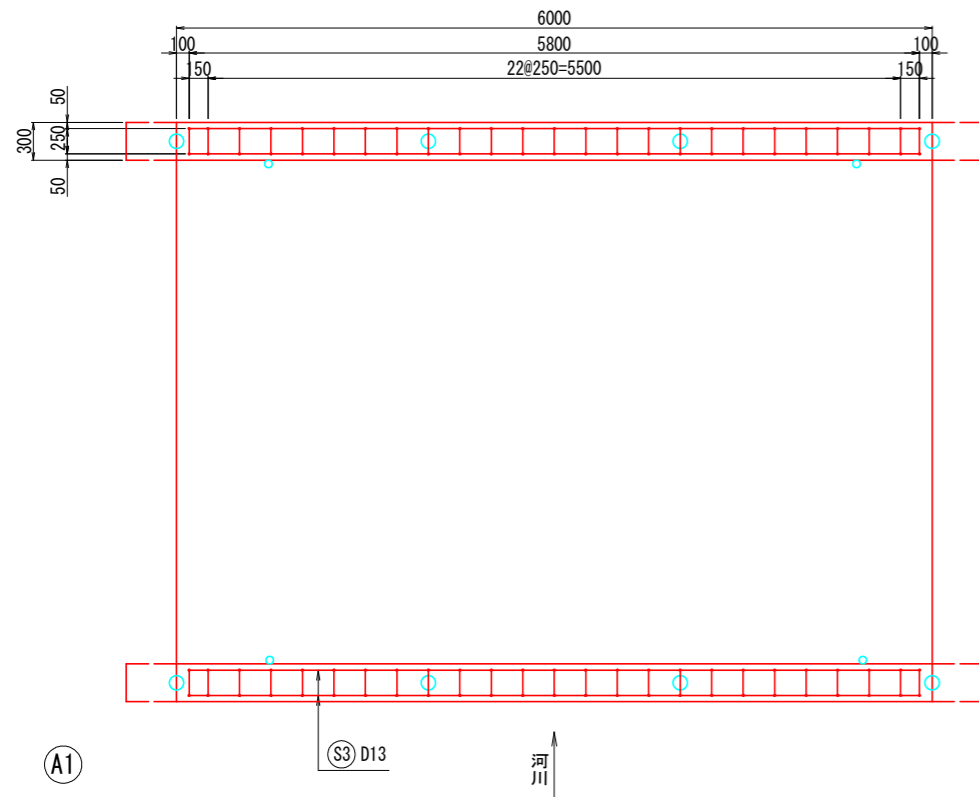
実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号(山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道439号		
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)		
図面名	無名橋(菅生) 補修図 (その2)		
縮尺	1:30	図面番号	9/18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>		

無名橋(菅生) 補修図 (その3) S=1:30

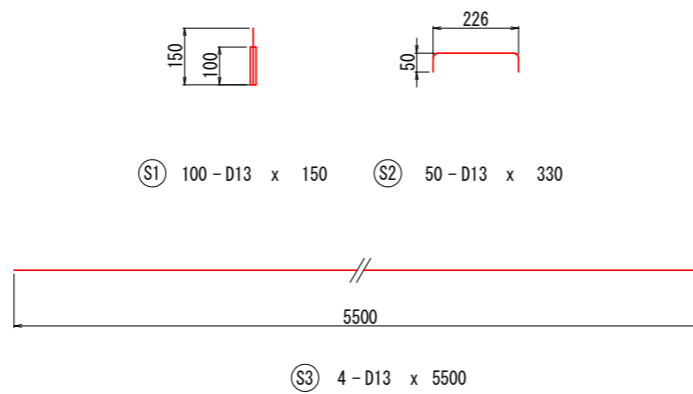
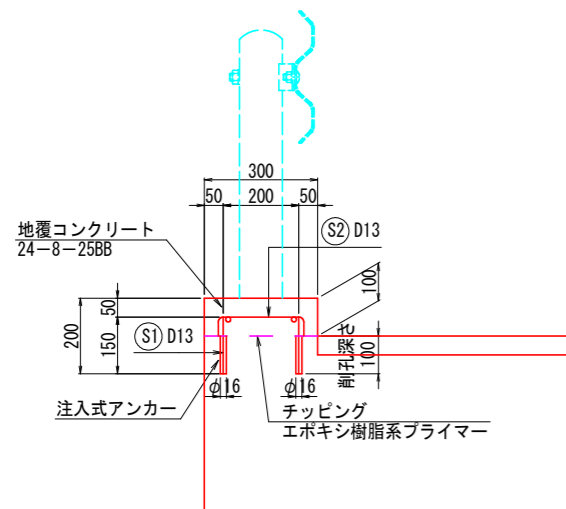
橋面 S=1:30

現況図 S=1:10



補修図 S=1:10

鉄筋加工図 S=1:10



鉄筋質量表 (一橋当り)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	適用
S1	D13	150	100	0.995	0.15	15	┆
S2	D13	330	50	0.995	0.33	17	┆
S3	D13	5500	4	0.995	5.47	22	┆
						合計	54 kg
鉄筋質量(SD345)						D13 =	54 kg
コンクリート削孔				φ16×100	100箇所		
注入式アンカー					100箇所		

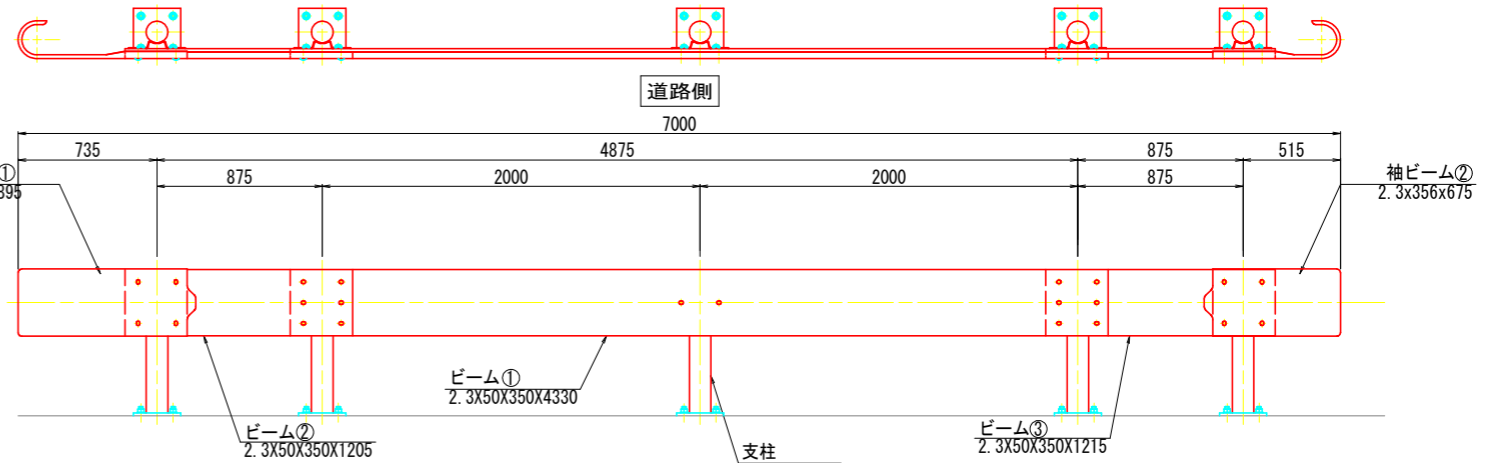
- 注記 1. 地覆の角は面取りを行うこと(C20以下)。
 2. 既設コンクリート面は十分にチップングを行い、新設コンクリートとの附着性能を高めること。
 3. コンクリートの附着面にプライマーを塗布し、附着力を高めること。
 4. 地覆延長、アンカー定着位置等は、現地実測・鉄筋探査による確認の上決定すること。

実施設計図面

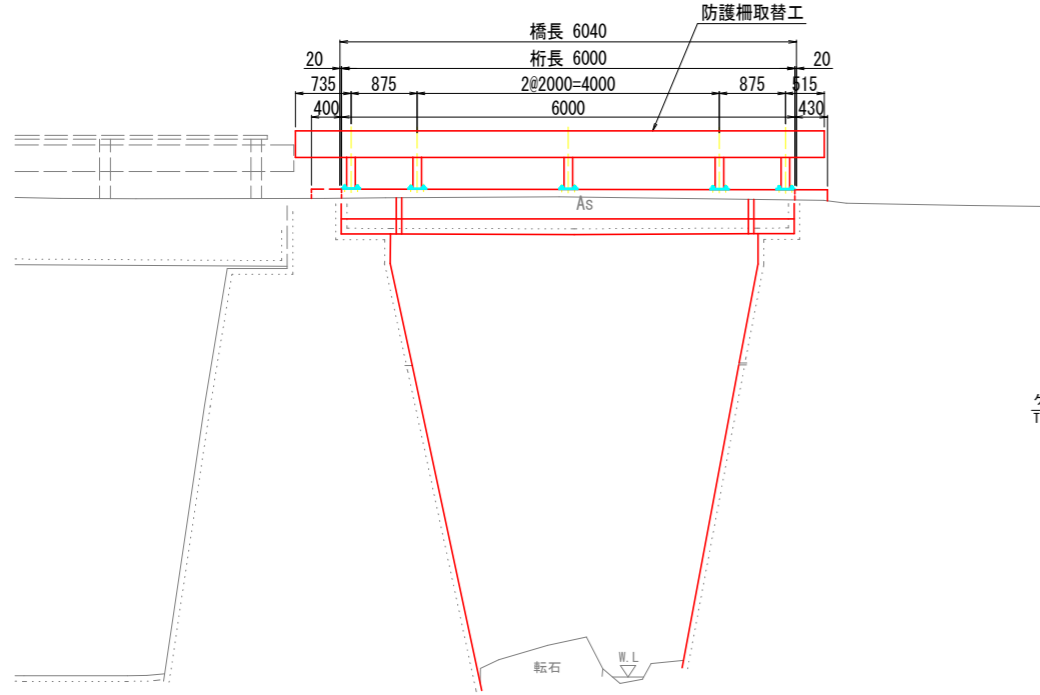
工事名	R2三土 国道439号(山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)
図面名	無名橋(菅生) 補修図(その3)
縮尺	図示 図面番号 10 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

無名橋(菅生) 防護柵取替工図

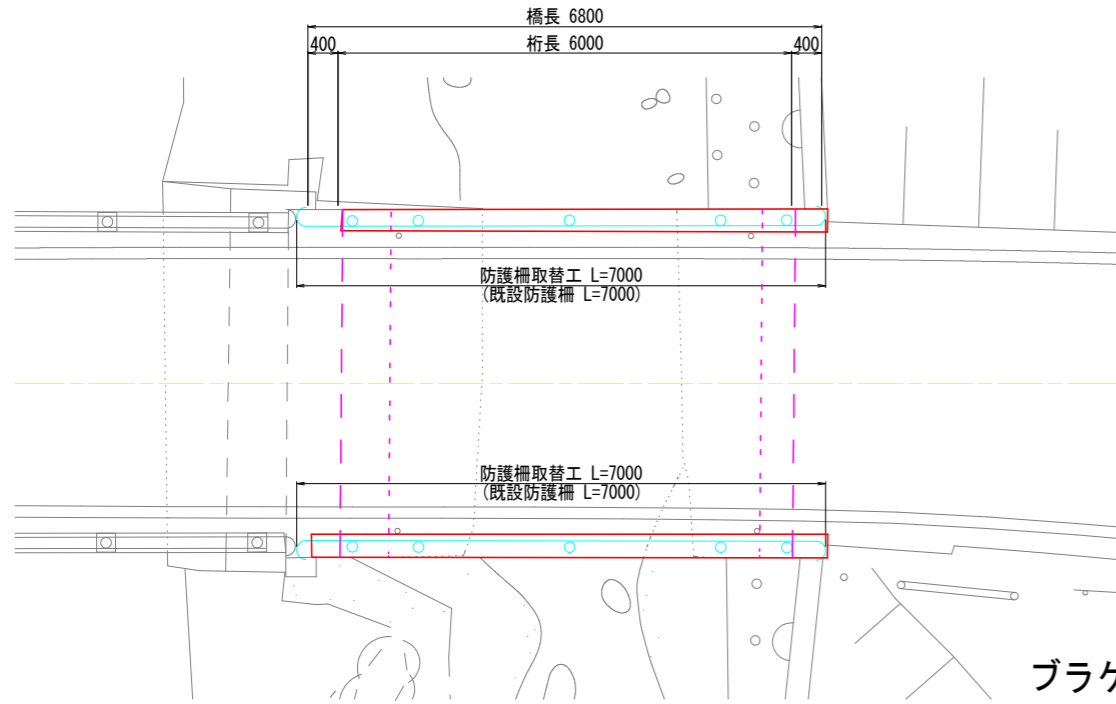
防護柵設置図 S=1:20



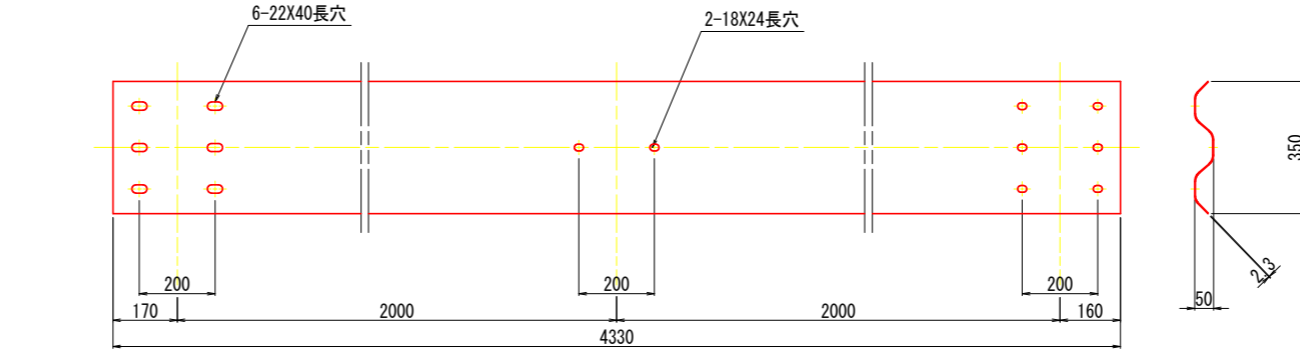
側面図 S=1:50



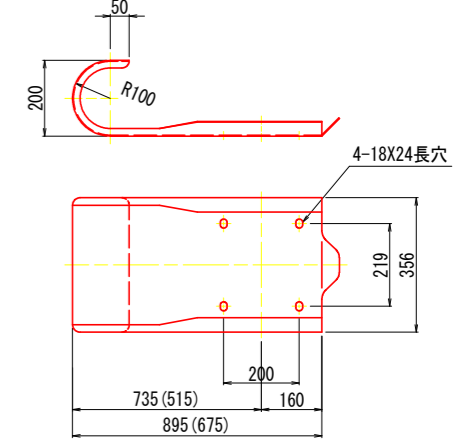
平面図 S=1:50



ビーム①詳細図 S=1:10

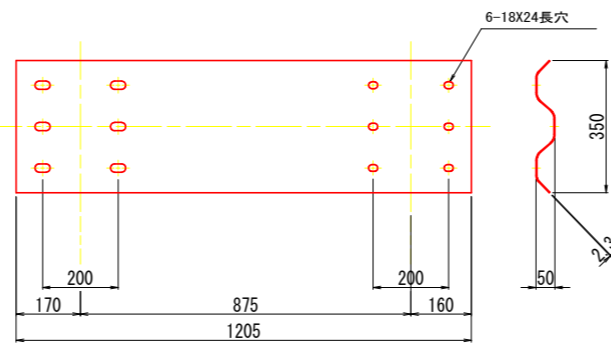


袖ビーム詳細図 S=1:10

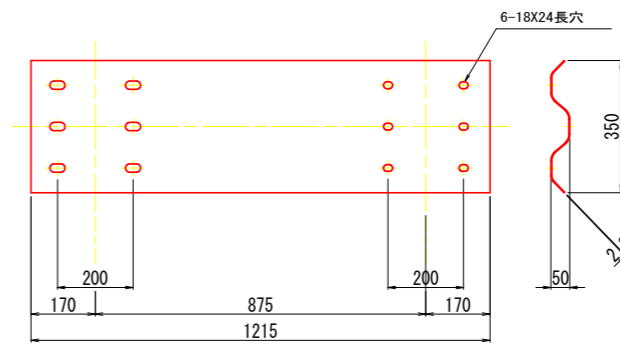


()内寸法は袖ビーム(2)を示す

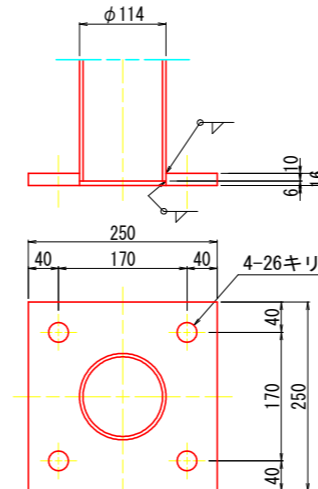
ビーム②詳細図 S=1:10



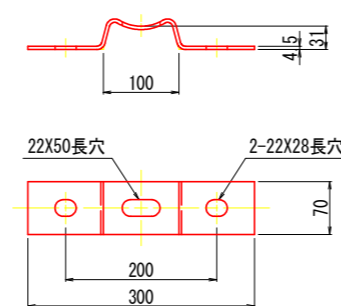
ビーム③詳細図 S=1:10



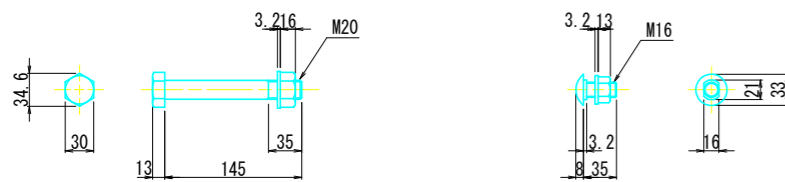
ベースプレート詳細図 S=1:5



ブラケット詳細図 S=1:5



ブラケット取付用B.N.W. (4.6) S=1:4 ビーム取付用B.N.W. (6.8) S=1:4



新設防護柵部材表

名称	形状・寸法	単重 (Kg/ヶ)	数量	重量 (Kg)	材質
支柱	φ114.3x4.5x700	14.9	10	149.0	STK 400
ビーム	2.3x50x350x4330	31.8	2	63.6	SS 400
	2.3x50x350x1205	8.9	2	17.8	SS 400
	2.3x50x350x1215	8.9	2	17.8	SS 400
袖ビーム	2.3x356x895	8.8	2	17.6	SS 400
	2.3x356x675	6.6	2	13.2	SS 400
ブラケット	4.5x70x300	0.9	10	9.0	SS 400
B. N. W.	M20x145	0.49	10	4.9	4.6
B. N. W.	M16x35	0.13	52	6.8	6.8
アンカーB. N. W.	M22x230	0.75	40	30.0	SS 400
樹脂カプセル	TG-22EN	0.2	40	8.0	

<注記>
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。

実施設計図面

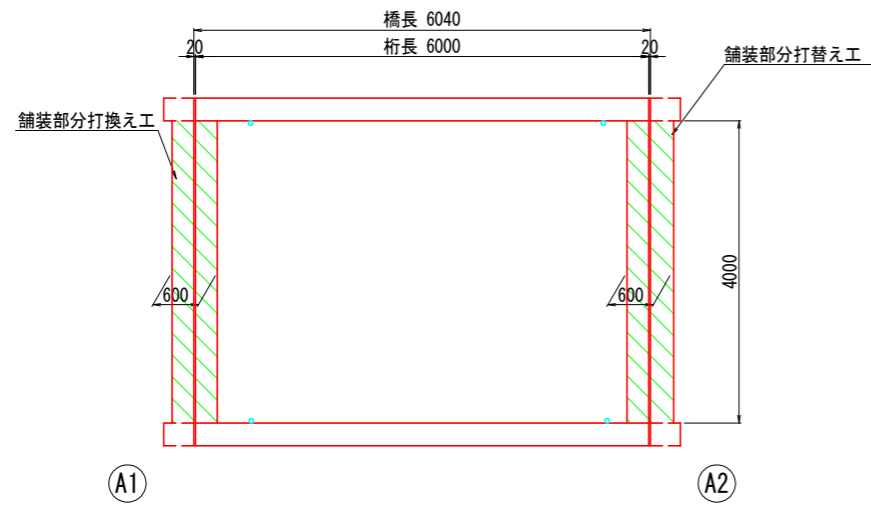
工事名	R2三土 国道439号(山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)
図面名	無名橋(菅生) 防護柵取替工図
縮尺	図示 図面番号 11 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局土木整備部<三好>

防護柵取替工 数量表

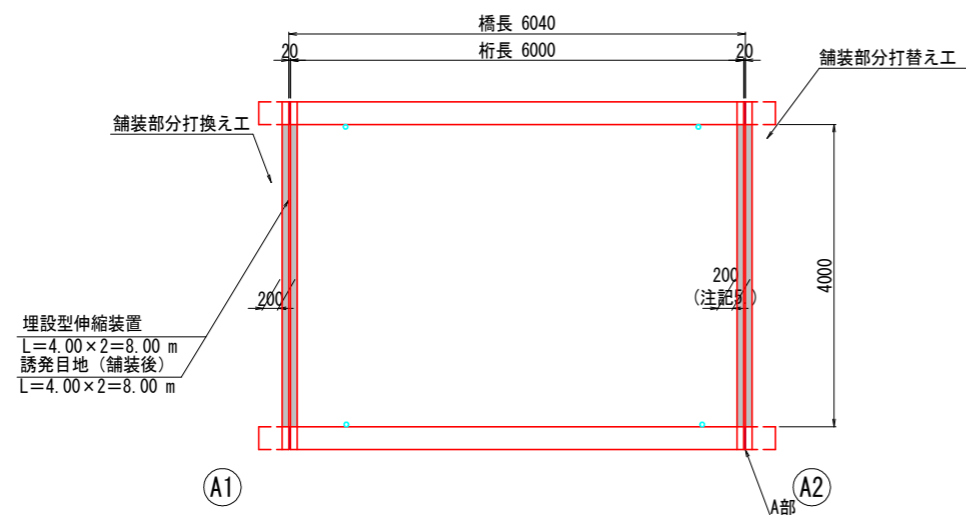
名称	仕様・寸法	単位	合計	備考
防護柵撤去	ガードレール	m	14.00	総撤去重量230.2kg
コンクリート削孔	φ22. L=180	箇所	40	

無名橋(菅生) 伸縮装置設置工・舗装部分打換工図

平面図(舗装打換) S=1:50

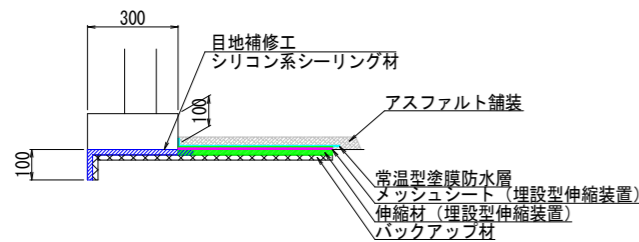


平面図(伸縮装置) S=1:50



地覆目地工

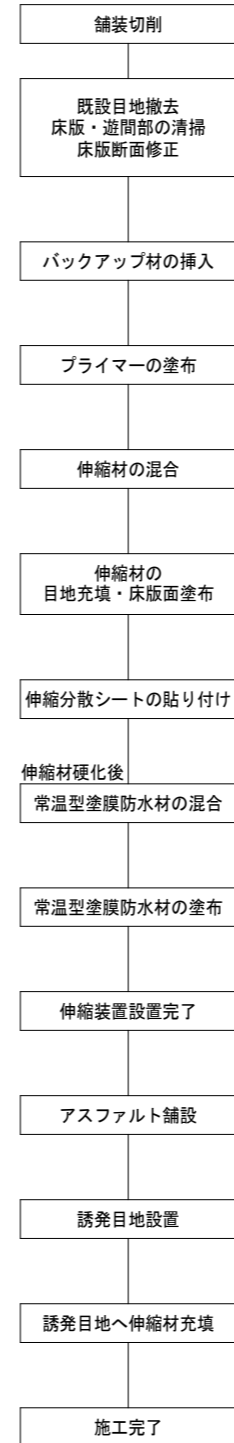
A部断面図：4ヶ所



伸縮装置設置工・舗装部分打換工 数量表

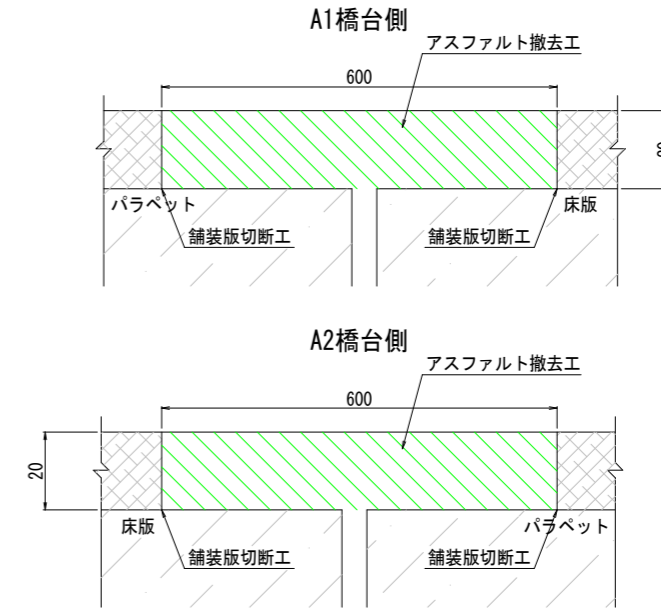
名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
伸縮装置設置工	埋設型伸縮装置	m	8.00	
	橋面防水: 常温型塗膜防水	m ²	1.60	
舗装打換工	As舗装→As舗装	m ²	2.40	t=20mm
地覆目地工	シリコン系シーリング材	m	2.00	

施工フロー図

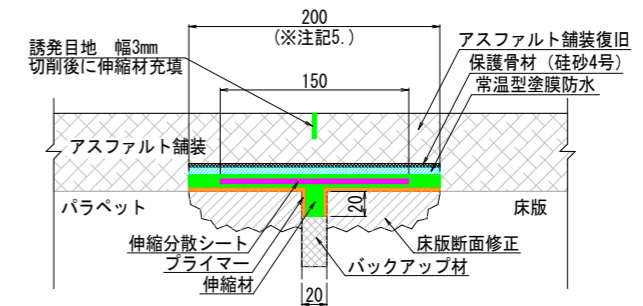


※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。

伸縮部現況図



伸縮装置断面図



※伸縮装置部の帯水を避けるために適切な排水設備を設けること。
※誘発目地深さはAs舗装を切断しないように注意し設けること。

伸縮装置材料表 <補修> 1 m当たり				
名称	材質	単位	数量	備考
伸縮材	主剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	ロス25%含む
伸縮材(誘発目地)	同上	kg	0.06	ロス20%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.045	ロス20%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	ロス10%含む
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	m	0.55	ロス10%含む

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。
※バックアップ材は適宜切断して使用する(1本2mが4m相当)

常温型塗膜防水材料表<補修> 1 m ² 当たり				
名称	材質	単位	数量	備考
常温型塗膜防水材	主剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	ロス25%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.77	ロス10%含む

※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。

※注記
1. 伸縮装置設置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
2. 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと
下記に参考仕様を示す

一体化	遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること	
伸縮追随性	±4mm繰り返して剥離・破損がないこと	6000回
	±10mm繰り返して剥離・破損がないこと	15回

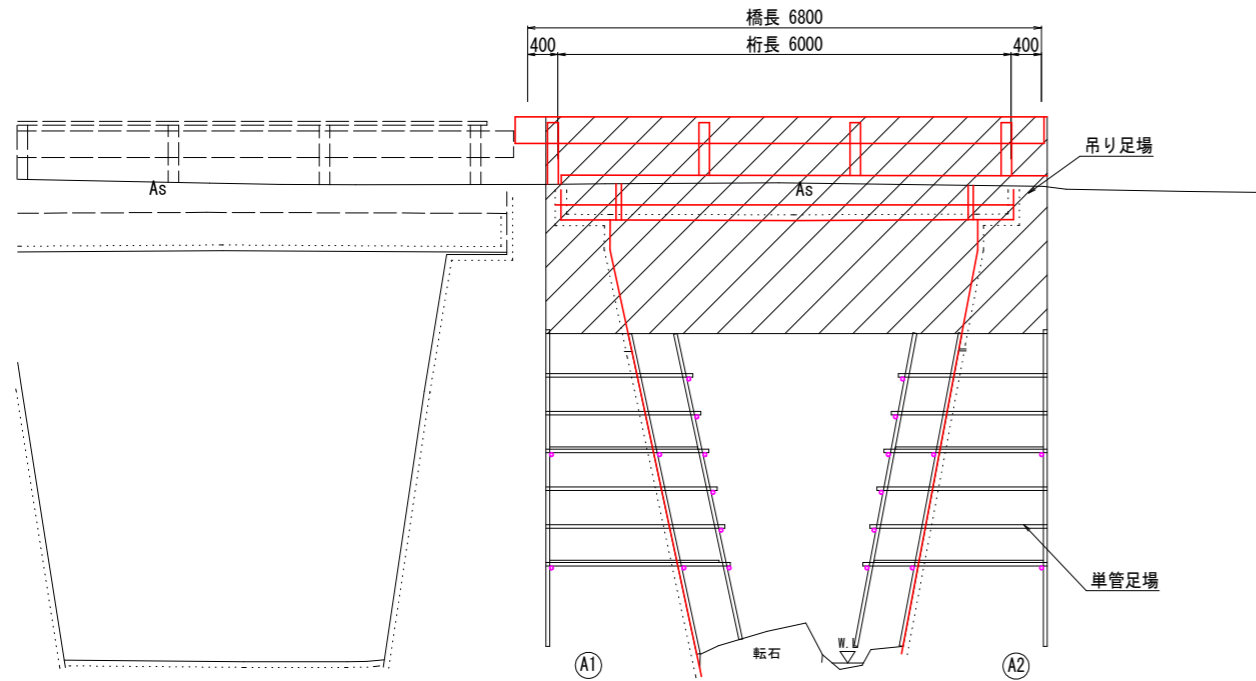
3. 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
4. 伸縮剤との一体化のため、橋面防水工の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
5. 設置面(W=200)の高さは、同レベルで不陸がない状態で断面修正(レベル調整)されていること
6. 既設遊間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遊間幅を調整すること ※適用範囲: 10~20mm
7. 床版断面修正の適用範囲はw200, t=30mmまでとする
8. 伸縮部の位置は想定となるため、施工時には現地詳細調査を行い図面と照合のこと。

実施設計図面

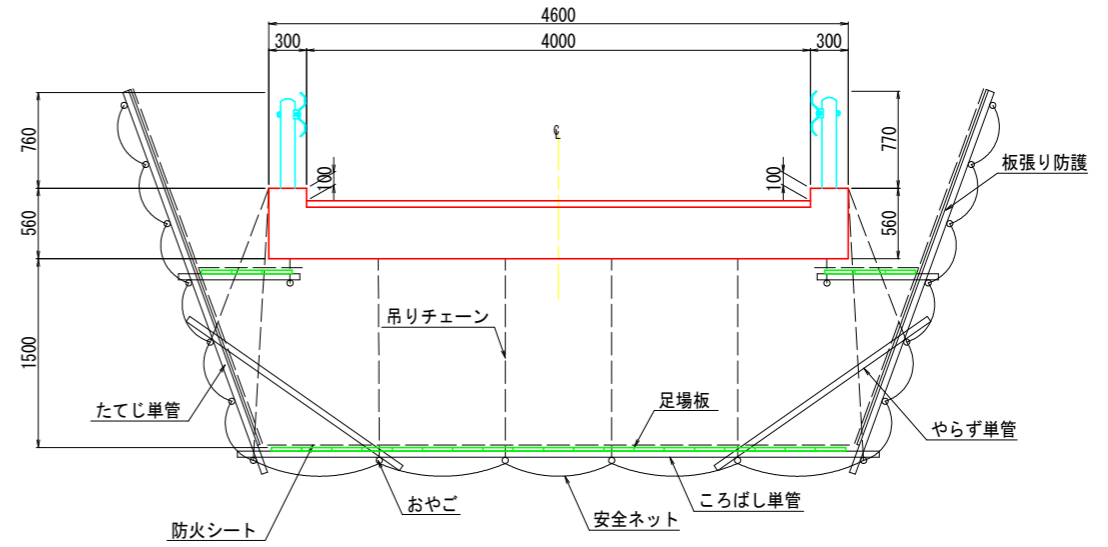
工事名	R2三土 国道439号(山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)
図面名	無名橋(菅生)伸縮装置設置工・舗装部分打換工図
縮尺	図示 図面番号 12 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局土木整備部<三好>

無名橋(菅生) 足場計画図(参考図)

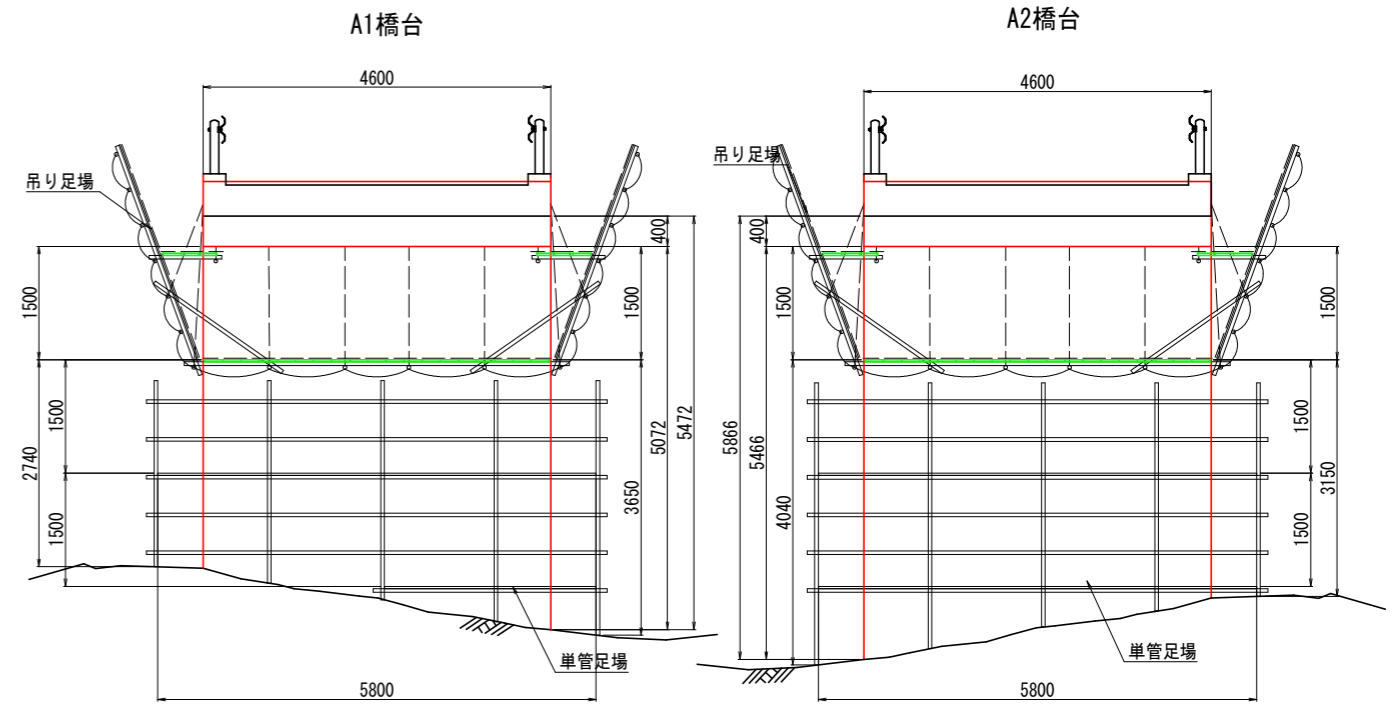
側面図 S=1:50



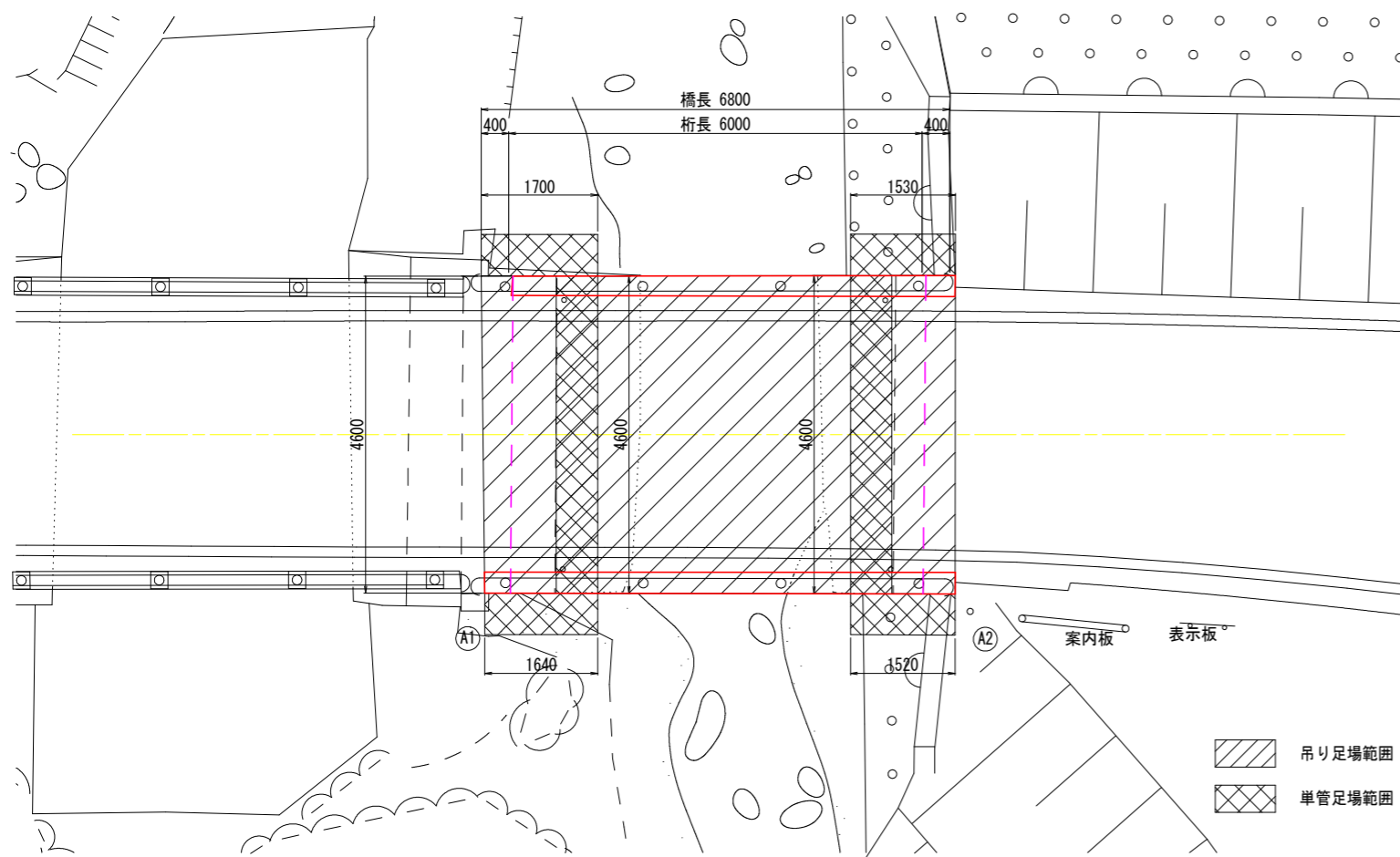
上部工断面図 S=1:30



下部工正面図 S=1:50



平面図 S=1:50



足場工

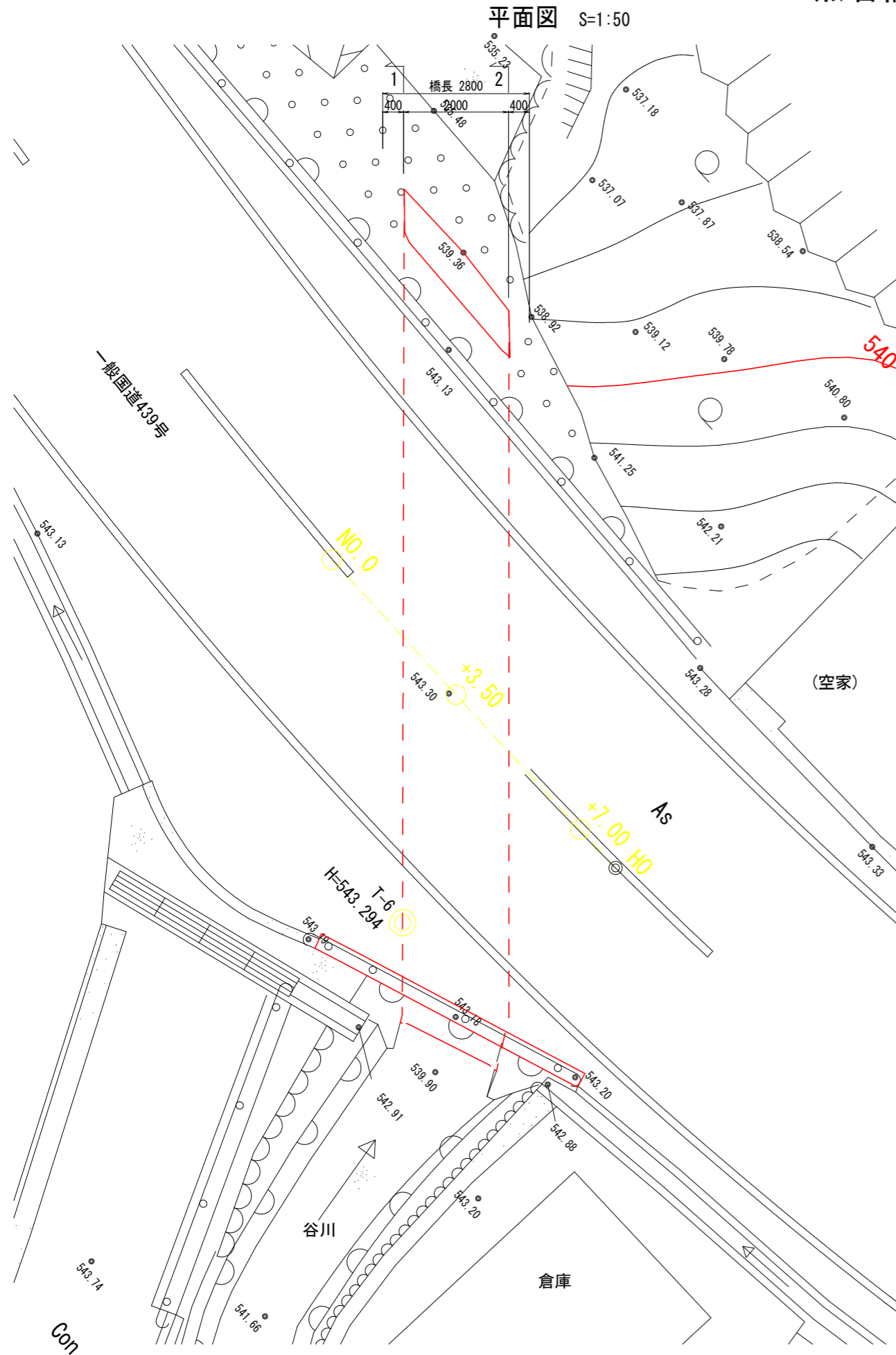
名称	仕様・寸法	単位	合計	備考
吊り足場	TYPE-A1	m ²	31.3	
単管足場	A1橋台側	掛m ²	25.4	
	A2橋台側	掛m ²	27.5	

〈注記〉
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。

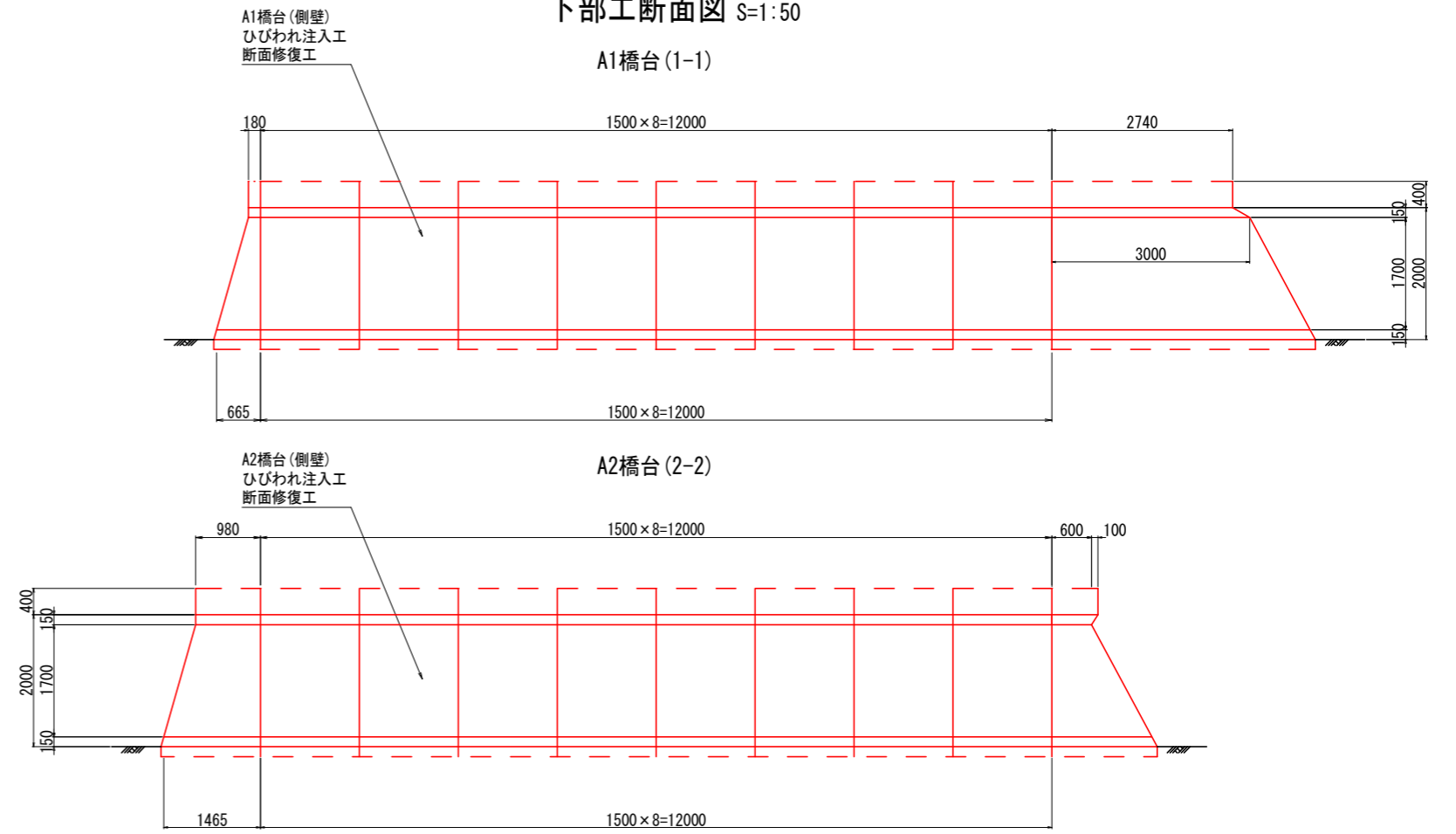
実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号(山神橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)
図面名	無名橋(菅生) 足場計画図(参考図)
縮尺	図示 図面番号 13 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

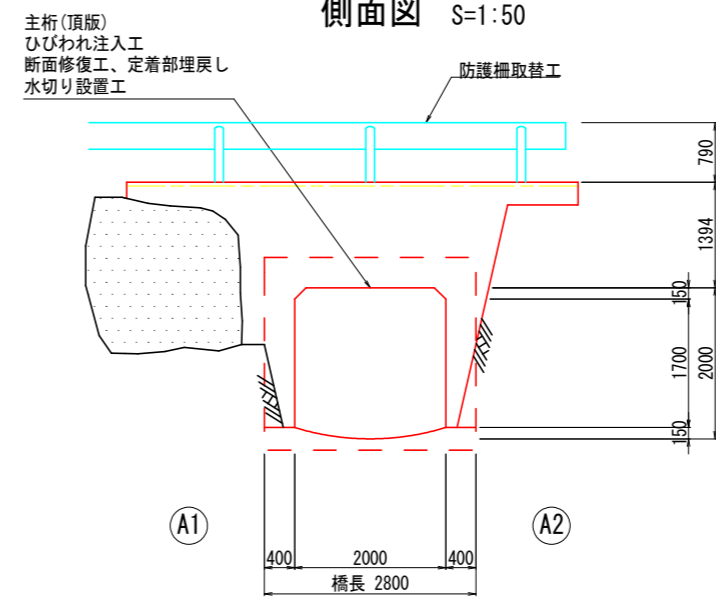
無名橋(栗枝渡) 補修一般図



下部工断面図 S=1:50



側面図 S=1:50



橋梁諸元	
橋種	RC溝橋(プレキャストボックスカルバー)
適用示方書	不明
規格・設計荷重	不明
橋長	2.800m
桁長	2.800m
有効幅員	12.100m
下部工及び基礎形式	下部工: ラーメン橋台
竣工年月	1962年

補修箇所一覧表

部位	損傷内容	補修項目		
上部工	主桁(頂版)	ひびわれ 剥離・鉄筋露出、うき 漏水・滞水	ひびわれ注入工(エポキシ樹脂) 断面修復工(ポリマーセメントモルタル) 水切り設置工(水切り材 PVC)	
	下部工	橋台(側壁)	ひびわれ 剥離・鉄筋露出、うき	ひびわれ注入工(エポキシ樹脂) 断面修復工(ポリマーセメントモルタル)
	橋面工	防護柵	変形	防護柵取替工

実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号(ふくじゆ橋他) 三・東祖谷管生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷管生他(山神橋他)
図面名	無名橋(栗枝渡) 補修一般図
縮尺	1:50 図面番号 14 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

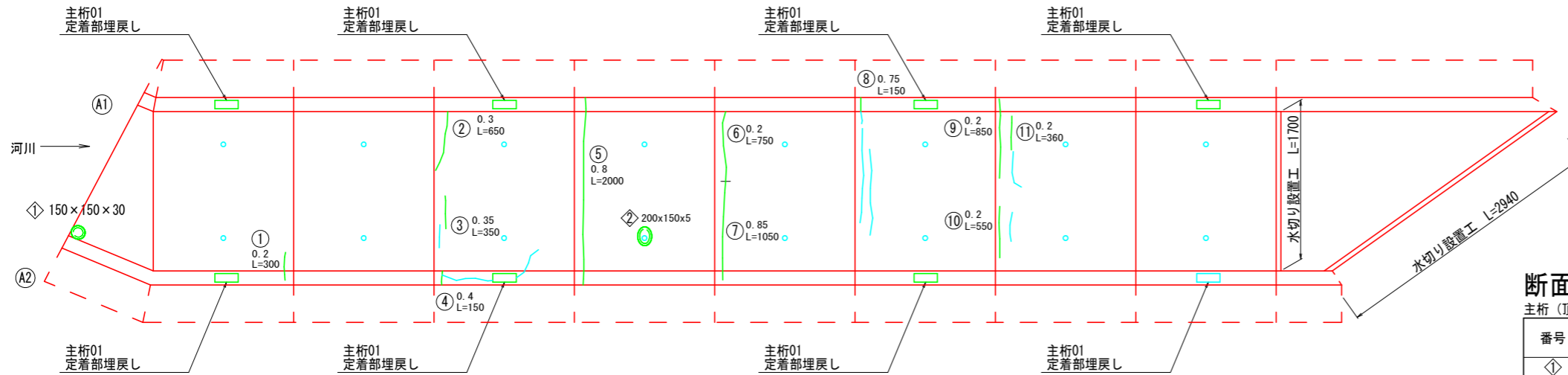
無名橋(栗枝渡) 補修図 (その1) S=1:30

ひびわれ注入工一覧表

主桁(頂版)、底版

番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長(m)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)			
①	0.20	300	1	0.300	主桁
②	0.30	650	1	0.650	主桁
③	0.35	350	1	0.350	主桁
④	0.40	150	1	0.150	主桁
⑤	0.80	2000	1	2.000	主桁
⑥	0.20	750	1	0.750	主桁
⑦	0.85	1050	1	1.050	主桁
⑧	0.75	150	1	0.150	主桁
⑨	0.20	850	1	0.850	主桁
⑩	0.20	550	1	0.550	主桁
⑪	0.20	360	1	0.360	主桁
⑫	0.80	750	1	0.750	底版
⑬	0.70	700	1	0.700	底版
合計				8.610	

主桁(頂版)



断面修復工一覧表

主桁(頂版)、底版

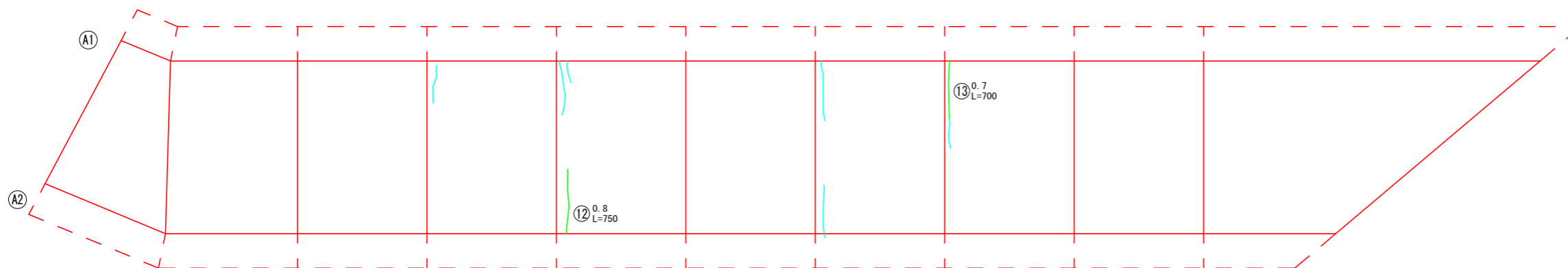
番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積(m ²)	備考
		縦(mm)	横(mm)			
①	剥離	150	150	1	0.023	主桁
②	剥離	200	150	1	0.030	主桁
合計					0.053	

水切り設置工

主桁(頂版)

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	延長(m)	備考
		縦(mm)	横(mm)			
	漏水・滞水		1700	1	1.700	主桁(下流端)
	漏水・滞水		2940	1	2.940	主桁(下流端)
合計					4.640	

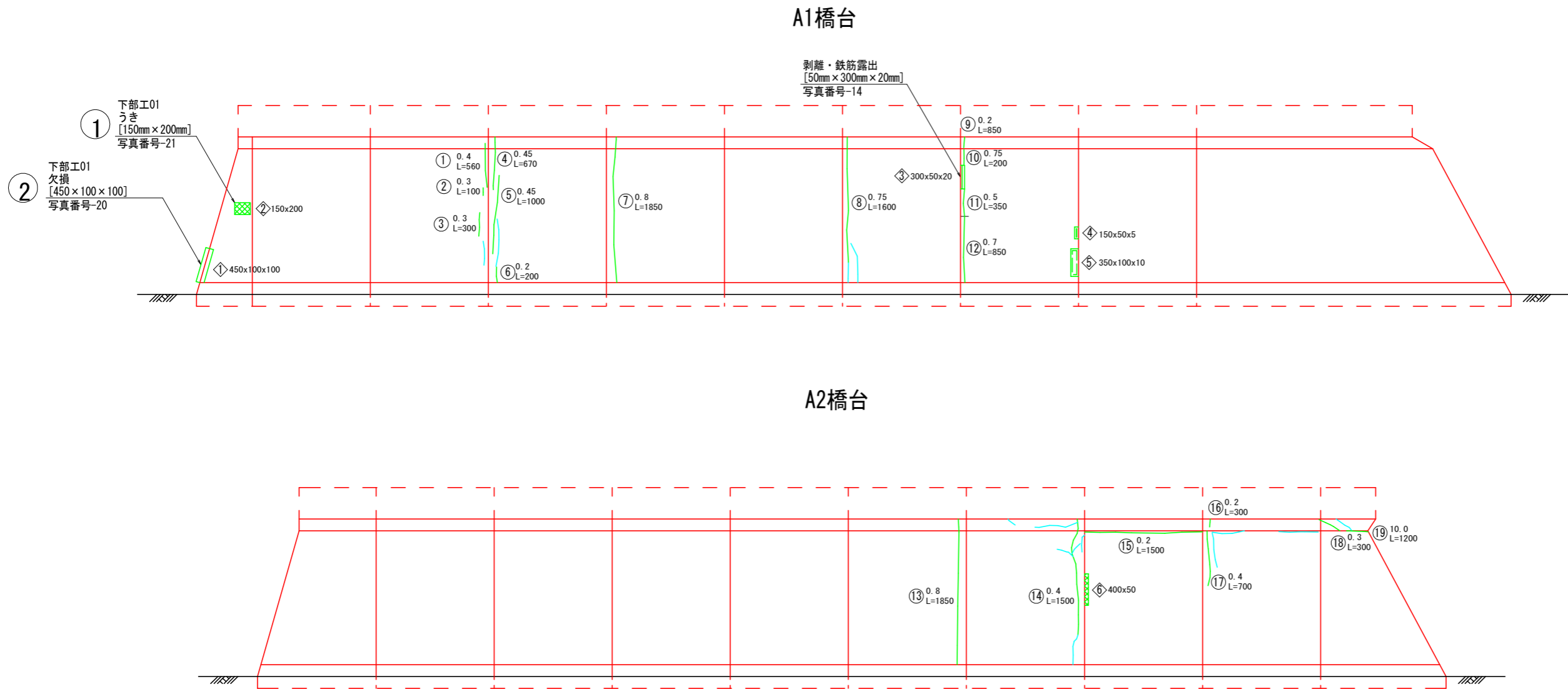
底版



(注記)
施工前には必ず現況寸法実測を行い、計画内容と照合すること。

実施設計図面	
工事名	R2三土 国道439号(ふくじゆ橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)
図面名	無名橋(栗枝渡) 補修図(その1)
縮尺	1:30 図面番号 15 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

無名橋(栗枝渡) 補修図 (その2) S=1:30



ひびわれ注入工一覧表

A1橋台 (側壁)

番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
①	0.40	560	1	0.560	下部工01
②	0.30	100	1	0.100	下部工01
③	0.30	300	1	0.300	下部工01
④	0.45	670	1	0.670	下部工01
⑤	0.45	1000	1	1.000	下部工01
⑥	0.20	200	1	0.200	下部工01
⑦	0.80	1850	1	1.850	下部工01
⑧	0.75	1600	1	1.600	下部工01
⑨	0.20	850	1	0.850	下部工01
⑩	0.70	200	1	0.200	下部工01
⑪	0.50	350	1	0.350	下部工01
⑫	0.70	850	1	0.850	下部工01
A1小計				8.530	

A2橋台 (側壁)

番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
⑬	0.80	1850	1	1.850	下部工02
⑭	0.40	1500	1	1.500	下部工02
⑮	0.20	1500	1	1.500	下部工02
⑯	0.20	300	1	0.300	下部工02
⑰	0.40	700	1	0.700	下部工02
⑱	0.30	300	1	0.300	下部工02
⑲	10.00	1200	1	1.200	下部工02
A2小計				7.350	
合計				15.880	

断面修復工一覧表

下部工 (側壁)

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m ²)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
①	欠損	450	100	1	0.045	下部工01
②	うき	150	200	1	0.030	下部工01
③	剥離・鉄筋露出	300	50	1	0.015	下部工01
④	剥離	150	50	1	0.008	下部工01
⑤	剥離	350	100	1	0.035	下部工01
⑥	うき	400	50	1	0.020	下部工02
合計					0.153	

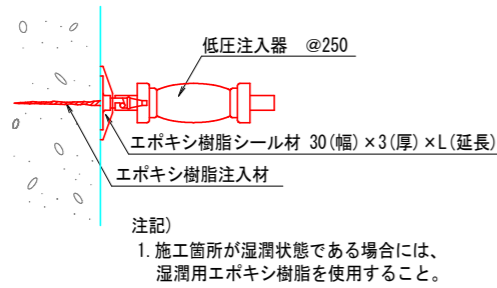
(注記) 施工前には必ず現況寸法実測を行い、計画内容と照合すること。

実施設計図面

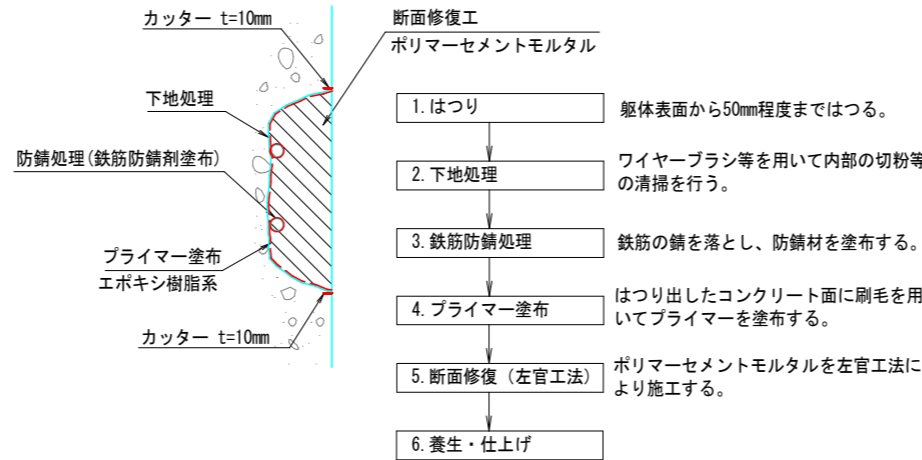
工事名	R2三土 国道439号 (ふくじゅ橋他) 三・東祖谷管生他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷管生他(山神橋他)
図面名	無名橋(栗枝渡) 補修図 (その2)
縮尺	1:30 図面番号 16 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

無名橋(栗枝渡) 補修図 (その3) S=1:30

ひびわれ注入詳細図 (ひびわれ幅0.2mm~1.0mm未満)

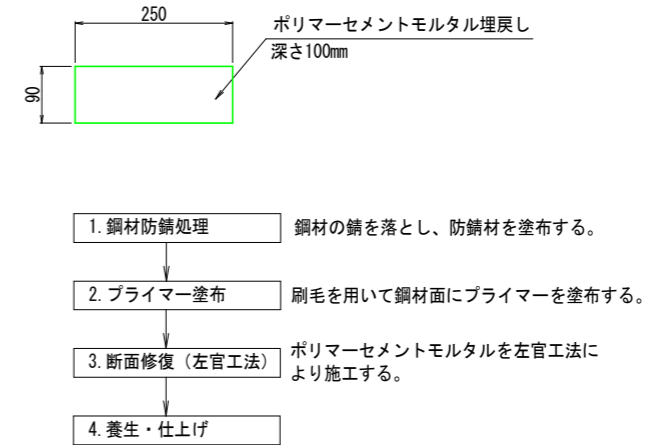


断面修復工 (参考)

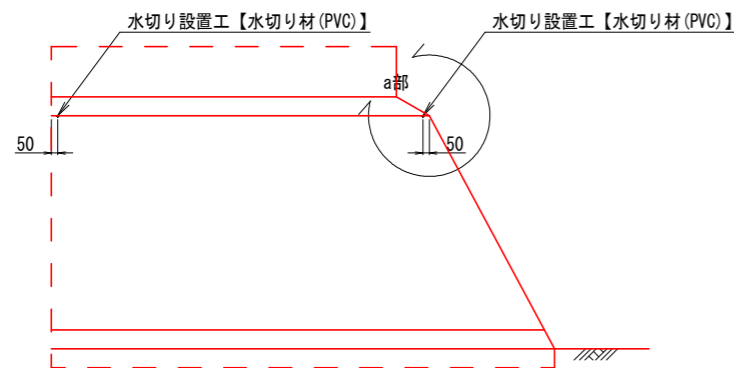


- ※ 注意事項
- 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。
 - 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
 - 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
 - 断面修復材
ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案)[工法別マニュアル編]平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

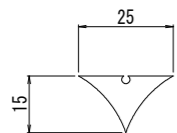
定着部埋戻し



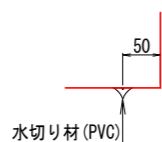
水切り設置工 S=1:30



水切り材詳細図 S=1:1



a部詳細 S=1:5

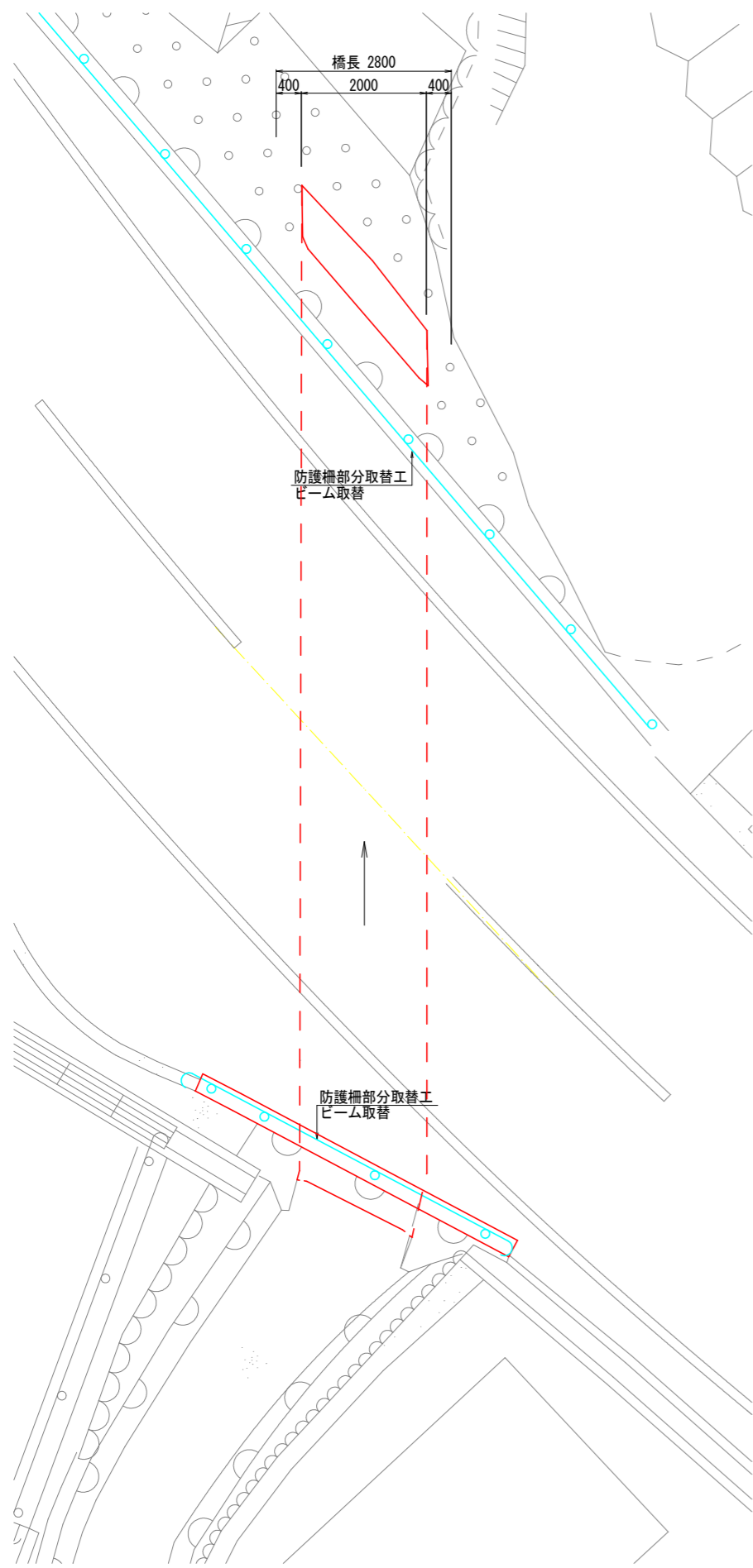


(注記)
施工前には必ず現況寸法実測を行い、計画内容と照合すること。

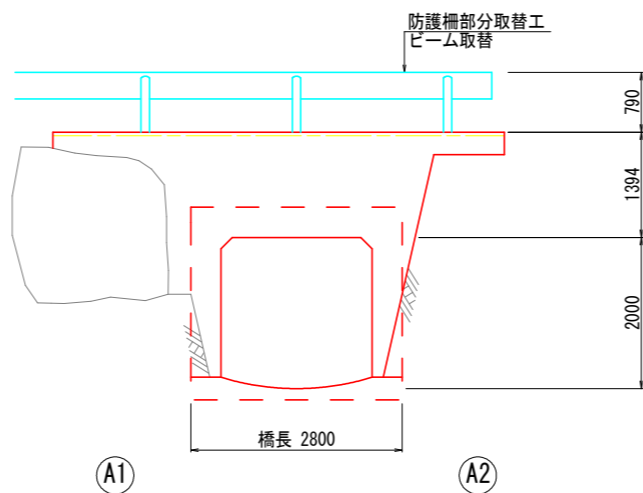
実施設計図面	
工事名	R2三土 国道439号(ふくじ橋他) 三・東祖谷菅生他 橋梁補修工事
路線名等	一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷菅生他(山神橋他)
図面名	無名橋(栗枝渡) 補修図(その3)
縮尺	1:30 図面番号 17 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>

無名橋(栗枝渡) 防護柵部分取替工図

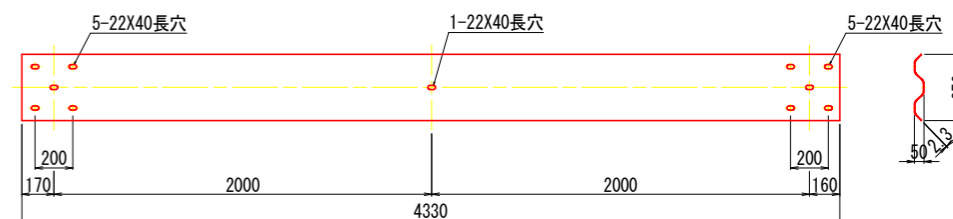
平面図 S=1:50



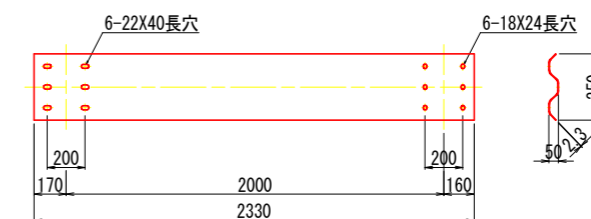
側面図 S=1:50



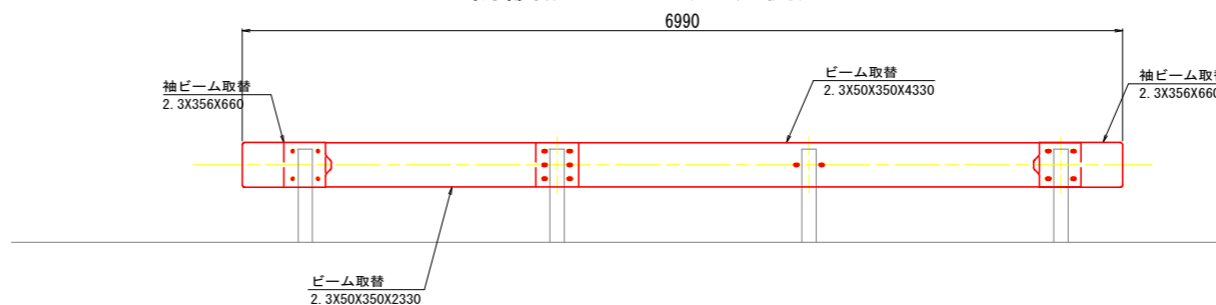
ビーム① S=1:20



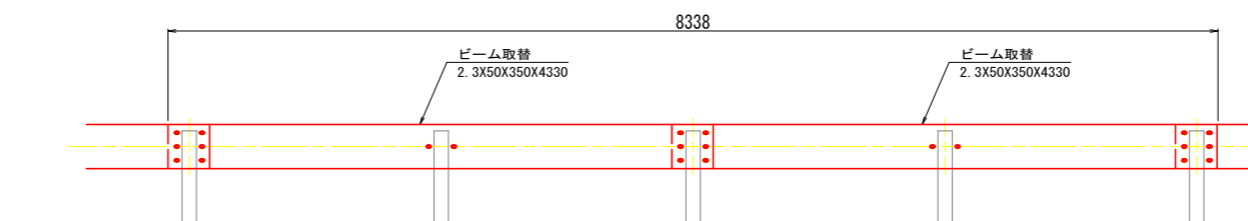
ビーム② S=1:20



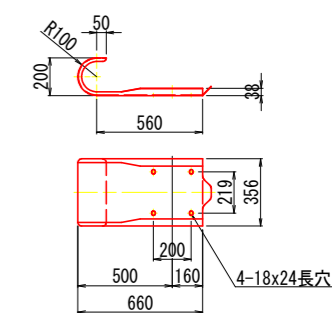
防護柵補修図(上流側) S=1:30



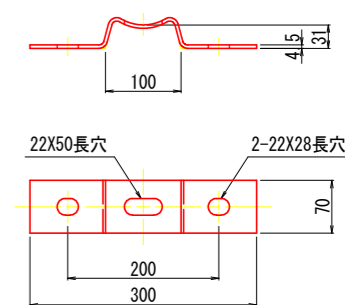
防護柵補修図(下流側) S=1:30



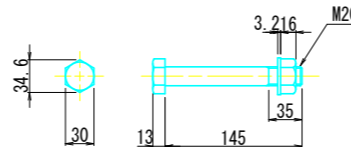
袖ビーム S=1:20



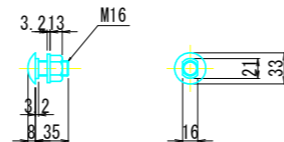
ブラケット詳細図 S=1:5



ブラケット取付用B. N. W. (4. 6) S=1:4



ビーム取付用B. N. W. (6. 8) S=1:4



ビーム取替工 数量表

ビーム取替工 数量表						(1橋当り)
項目	規格	材質	単位	数量	備考	
部分取替	ビーム(1)	2. 3 × 50 × 350 L=4330	SS400	個	3	総撤去重量 133.61 kg
	ビーム(2)	2. 3 × 50 × 350 L=2330	SS400	個	1	
	袖ビーム	2. 3 × 356 L=660	SS400	個	2	
	ブラケット	4. 5 × 70 × 300	SS400	個	9	
ブラケット取付用B. N. W	M20 × 145	-	組	9		
ビーム取付用B. N. W	M16 × 35	-	組	42		

<注記>
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。

実施設計図面

工事名	R2三土 国道439号(ふくじゅ橋他)
路線名等	三・東祖谷管生他 一般国道439号
工事箇所	三好市東祖谷管生他(山神橋他)
図面名	無名橋(栗枝渡) 防護柵部分取替工図
縮尺	図示 図面番号 18 / 18
事業者名	徳島県西部総合県民局県土木整備部<三好>